Giving December 寄付月間

Thank You

この一年に感謝を込めて　　みんなで未来を創ろう！

おもやい

「おもやいアワード2019」

日時:１２月２１日（土）１３：３０～１７：３０
場所:熊本　城彩苑　多目的ホール
内容：第1部　オルビスくまもと未来基金活動報告・
　　第2部　「みんなで未来を創ろう！」
　　講演：「寄付がつなぐ地域の未来」
　　山北洋二氏（あしなが育英会顧問）

参加費無料

寄付月間公式認定企画　主催：一般財団法人くまもと未来創造基金

今日の流れ

おもやい

13:15　受付開始

13:30開会　　開会挨拶

13:35（第1部）

1.「オルビスくまもと未来基金」

2019年活動報告8団体

10分×8団体（80分）

①嘉島町子ども食堂ハンズハンズ

②陽だまりの樹

③子育てネットワーク縁側moyai

④熊本転入ママの会

⑤益城子ども農園

⑥HappyPark

⑦ハロウインマルシェ実行委員会

⑧イースターパーティー実行委員会

2. オルビス社様からのコメント

14:50休憩　（10分）

15:00（第2部）

▼講演

「寄付がつなぐ地域の未来」

山北洋二氏

日本ファンドレイジング協会理事

全国レガシーギフト協会理事

あしなが育英会顧問

80分

16:20**「みんなで未来を創ろう！」**

・「1592チャレンジ基金」

・「Appleseed基金」

10分

16:30　**交流会**

（立食形式・簡単な軽食飲み物）

17:30　閉会の挨拶

１．「オルビスくまもと未来基金」2019年度活動報告

おもやい

「オルビスくまもと未来基金」
創設経緯

【活動助成金事業】
この助成プログラムは
一般社団法人くまもと未来創造基金
オルビス株式会社株式会社＆
株式会社LIFULL Social Funding
との3者による協働事業です。

㈱LIFULL Social Fundingとくまもと未来創造基金は、
ORBISが運営する災害復興支援『いつもプロジェクト』における
熊本地震被災地支援のアドバイス、および助成金運営業務
を行っています。

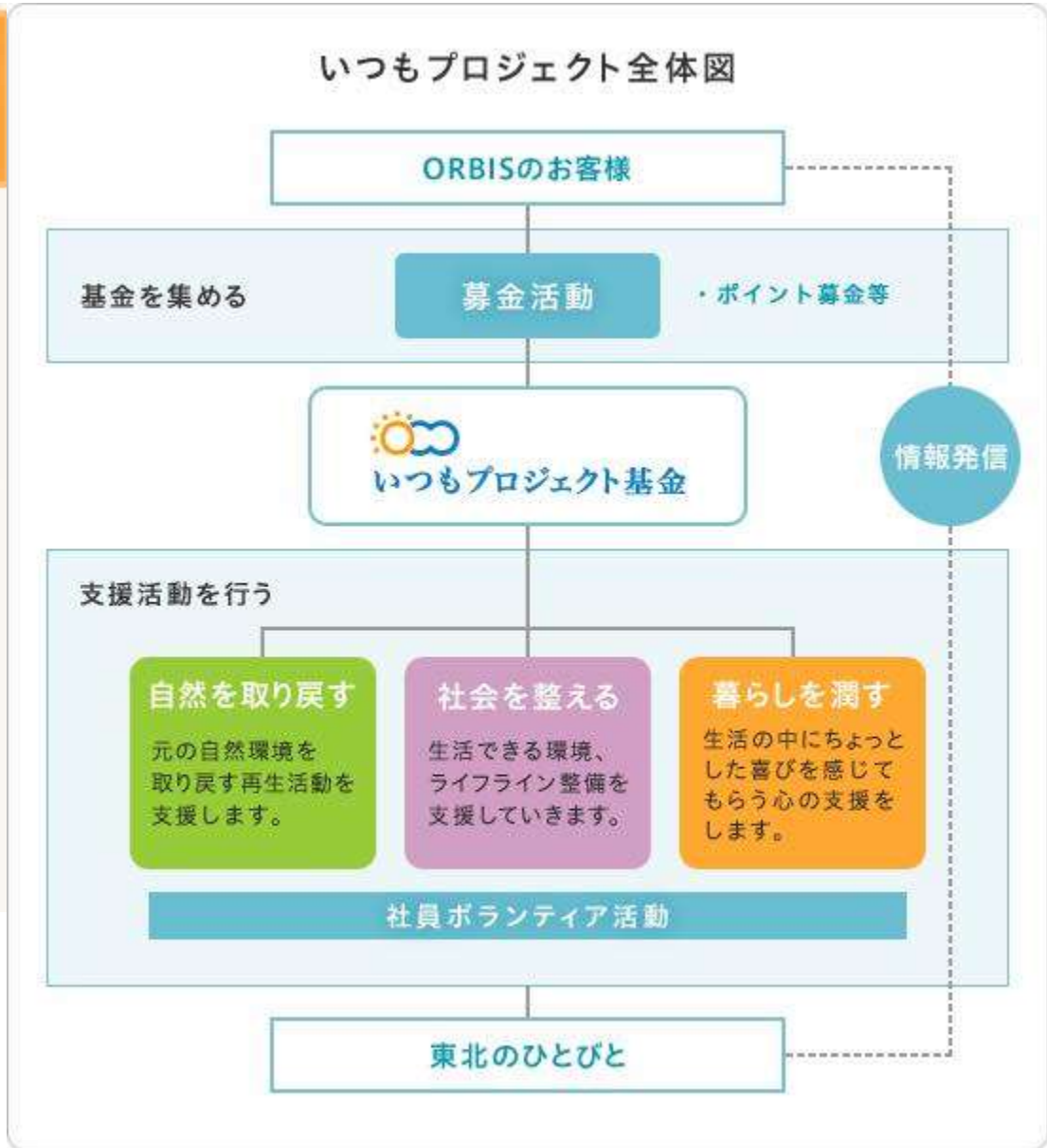
株式会社オルビス「いつもプロジェクト」

つながる・取り組む・一緒につづける

いつもプロジェクトのしくみについて

「かけがえのない『いつも』の日常を
被災地の方々が取り戻す、力になりたい」

2011年3月11日に東日本大震災が起こり、今まで当たり前のようにあった「いつも」の暮らしが、どれほど大切であったかに改めて気づかされました。お客様の「いつも」の質を高めることを目指してきたオルビスにとって、被災地域の方々が「いつも」の日常を取り戻すためのお手伝いすることが、私たちにもできる貢献の1つだと考えました。
そこで、オルビスでは、被災地の復興活動を支援する「いつもプロジェクト」を立ち上げました。プロジェクトでは、お客様からお預かりした基金を復興に向けた寄付や支援活動に役立ててまいります。
また、時間とともに変化する被災地情報を発信し続け、被災地の暮らしに寄り添うとともに、プロジェクトに参加いただいたお客様の思いにもお応えしていきたいと思います。



「オルビスくまもと未来基金」3ヵ年事業

	採択対象活動内容（団体）	助成形態	基盤強化事業
1年目 2017年 緊急期	**「緊急支援・心のケア支援」** ・災害復旧支援（ロハス南阿蘇たすけあい） ・給食支援命のスーププロジェクト（給食を考える会熊本） ・妊婦・産後ママ支援（NGOマザー＆アース） ・仮設住宅子ども支援（熊本子育てサポーターズ） ・ひとり親支援（Wish&Happines） ・情報発信支援（ローカルメデイア3）	総額320万円 ・スタート助成 30万×4団体 ・ステップアップ助成100万×2団体	セミナー 相談会最終報告会開催
2年目 2018年 復旧期	**活動分野「子ども・女性・若者」支援活動** ・子ども地域食堂（ハンズハンズ） ・長期休暇学習生活支援（よかあんばいJapan） ・子ども・ママ支援（ハロウインマルシェ実行委員会） ・子ども職業体験（熊本転入ママの会） ・女性就業支援ハタラクママプロジェクト（キラリコーポレーション） ・災害支援学生団体ネットワーク・学び支援（熊本大学災害ボランテイアサンフラワー）	総額450万 ・20万×1団体 ・75万×2団体 ・80万×1団体 ・100万×2団体	セミナー 中間報告会 定期的個別相談交流会 最終報告会開催 会計サポート
3年目 2019年 復興期	**活動分野「子ども・女性・若者」支援** ・子ども食堂・学習支援（だんだん食堂・陽だまりの樹） ・子育てママ支援（HappyPark、ハロウインマルシェ、子育てnetwork縁側moyai・熊本転入ママの会） ・ひとり親家族支援（益城子ども農園） ・復興支援（イースターパーティー実行委員会）	**総額400万** ・20万×1団体 ・30万×1団体 ・50万×4団体 ・75万×2団体	

2019年オルビスくまもと未来基金

くまもとの未来を作るプロジェクト募集！

2019年「オルビスくまもと未来基金」

かけがえのない「いつもの」日常を被災者が取り戻す力になりたい！
そんな思いから始まった株式会社オルビスの「いつもプロジェクト」
会員の皆様からいただいたご寄付から、くまもと未来創造基金が創設した「オルビスくまもと未来基金」は3年目を迎えました。

1年目(2017年)ー緊急災害復旧支援、仮設住宅子ども支援、妊婦産後ママ支援、情緒発達支援
学校給食支援(5団体)
2年目(2018年)ー子どもの生活・学習支援、女性の就労支援、学生災害ボランティア支援(6団体)

★3年目は、被災した私たち自ら、継続的な支援活動体制を今後も継続し、熊本の明るい未来を作るために「コミュニティの場形成やネットワーク・連携を活かし、継続的な生活支援・心のケア支援・就業雇用支援ができる活動や体制づくり」を支援します！

▼プログラム概要と応募方法
【助成の内容】
- 対象事業
「女性・子ども・若者」を対象に熊本地震被災者支援活動を行う非営利活動・復興関連事業を対象とします。
生活・復興支援(仮設住宅支援・コミュニティ形成支援・地域活性化・就労支援事業)・心のケア支援など
- 助成対象期間　2019年1月1日-2019年12月31日の期間に実施する活動を対象
- 助成金額:総額500万円(予定)
助成:1団体当り単体活動50万以内・連携活動100万以内

▼選考基準
・事業の有効性
・実現可能性
・事業の継続性

★助成金終了後も、継続した活動ができるよう専門家と団体基盤強化セミナー・サポートを行います。

事業の流れ
申請～完了まで

10月
★説明会&企画書セミナー

10月～12月
応募・審査
贈呈式

2019年
1月～12月
活動

7月
中間報告会

12月～1月
最終報告

成果・成長

団体基盤強化セミナー＆サポート
(熊本の財団だからこそできる細やかな支援)

各地「説明会・開催セミナー」参加を応募の必須条件とします！
- 益城町:10/24(水)18時～20時半
- 西原村:10/26(金)18時～20時半
- 熊本市:10/27(土)13時半～16時
- 阿蘇市:11/1(木)13時半～16時
- 熊本市:11/4(日)10時～12時

【申請書ダウンロード先】くまもと未来創造基金ホームページより
ダウンロードください。　HP:http://omoy.jp
【申請申し込み先】下記メールに 申請書をお送りください。
Email: kumamoto.omoy@gmail.com
一般財団法人くまもと未来創造「オルビスくまもと未来基金」事務局 宛
【応募締め切り】2018年11月22日(木)(午後5時必着)

団体基盤強化セミナー

熊本地震から2年半。全国からの復興支援が少なくなるこれから、継続的活動をしていくために、必要な団体運営や課題解決、資金調達に必要な基本的学びと企画書作成のコツを学びませんか？

共感と支援を得るための企画書作成実践セミナー

参加費 無料

＊この事業は、株式会社オルビス・株式会社LIFULL Social Funding・一般財団法人くまもと未来創造基金三者協働による熊本地震被災者活動支援助成プログラム(3ヵ年事業)として実施いたします。

日時 会場

益城町	10月24日(水)18:00～20:30	益城町交流情報センター ミナテラス研修室 (上益城郡益城町木山236)
西原村	10月26日(金)18:00～20:30	西原村社会福祉協議会 研修室 (阿蘇郡西原村小森572)
熊本市	10月27日(土)13:30～16:00	熊本県総合福祉センター 第4会議室 (熊本市中央区南千反畑町3-7)
阿蘇市	11月 1日(木)13:30～16:00	阿蘇市 農村環境改善センター (阿蘇市内牧976-2)
熊本市	11月 4日(日)10:00～12:00	熊本市シアーズホーム夢ホール第7会議室 (熊本県熊本市中央区桜町1-3)

対象
・積極的な資金調達を行っていきたい団体・興味を持つ団体
・「オルビスくまもと未来基金」に応募を希望する団体

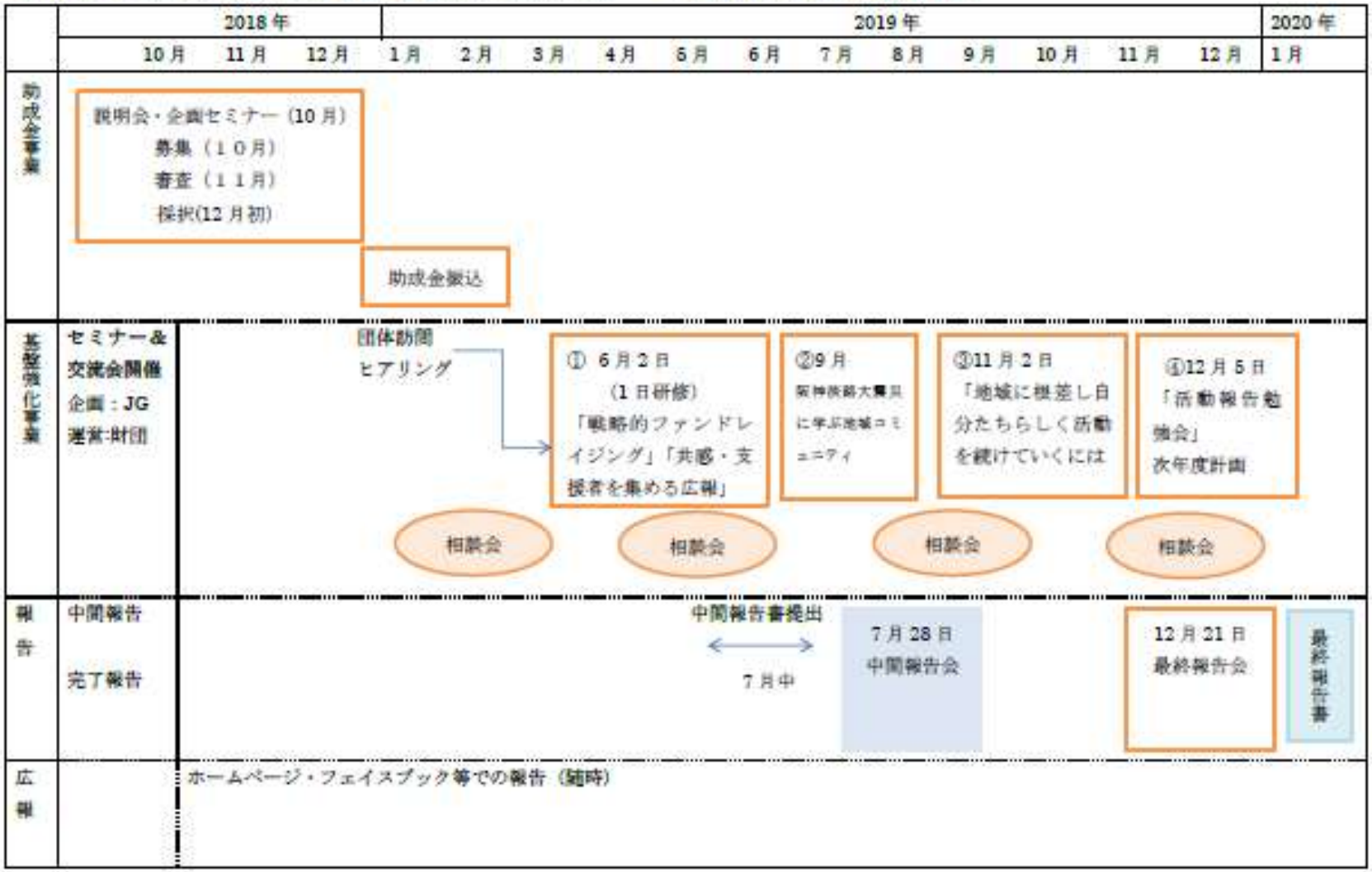
セミナー内容
1. 団体が目指す活動
2. 団体の優先課題
3. 戦略的な資金調達の基礎＆事例
4. 団体の資源を考える
5. 団体の協力者を増やす企画書作り

(「オルビスくまもと未来基金」募集要項・説明)

■主催:一般財団法人くまもと未来創造基金
■お問い合わせ・お申込み:一般財団法人くまもと未来創造基金
FAX:096-340-1190　事務局:熊本市中央区上水前寺1-6-41　OCOビル9F　903号
HP: http://omoy.jp/　Email: kumamoto.omoy@gmail.com
★申し込みはFBイベントページ・メール・FAXで

団体名		
参加者名		
住所		
連絡先	TEL:	E-mail:

2019年「オルビスくまもと未来基金」事業実施スケジュール　　（2018年10月～2020年1月）



活動団体

①嘉島町子ども食堂ハンズハンズ
②陽だまりの樹
③子育てネットワーク縁側moyai
④熊本転入ママの会
⑤益城子ども農園
⑥HappyPark
⑦ハロウインマルシェ実行委員会
⑧イースターパーティー実行委員会

おもやい

オルビスくまもと未来基金
2019年　活動最終報告

団体名 ハンズハンズ
代表者名　穴井　智子
広報担当　藤田　麻美

団体の活動紹介

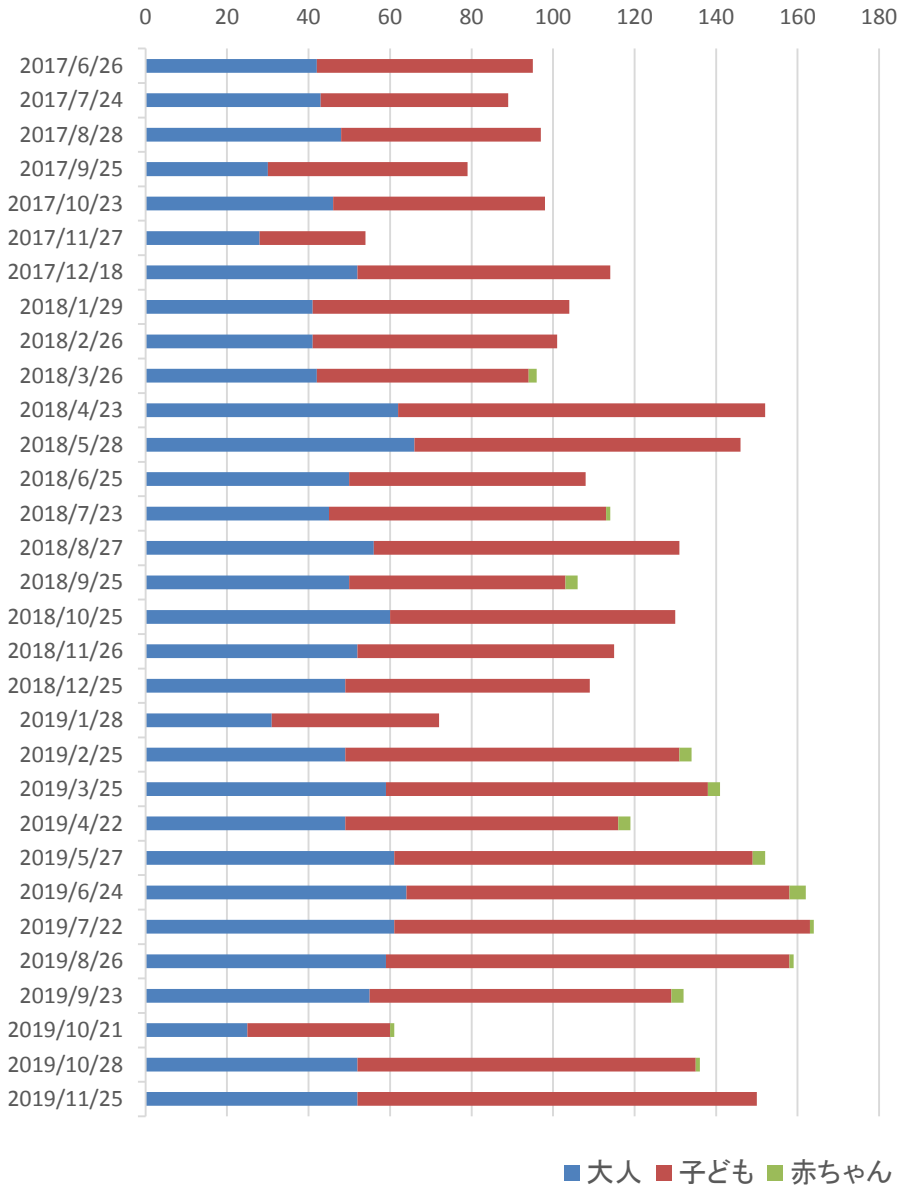
- 子ども・地域食堂として活動

  夕ごはん：毎月第4月曜日　PM4：00～8：00

  朝ごはん：毎月第2土曜日　AM7：00～9：00

- 2017年6月スタート　利用者数とボランティアスタッフ
- 提供の食事内容について
- 体験の様子紹介（おはぎ作り、竹箸作り、夏休み1日体験）
- イベント（『出張 子ども食堂』の実施、進級お祝い会など）
- 今夏より、学びの場開始！・学校との繋がり

「夕ごはんの日」 実施日別構成比



- 大人と子どもの割合の変化

  当初　子4.4　：　大5.5

  直近　子3.5　：　大6.5

- 2019年1月～子ども無料化

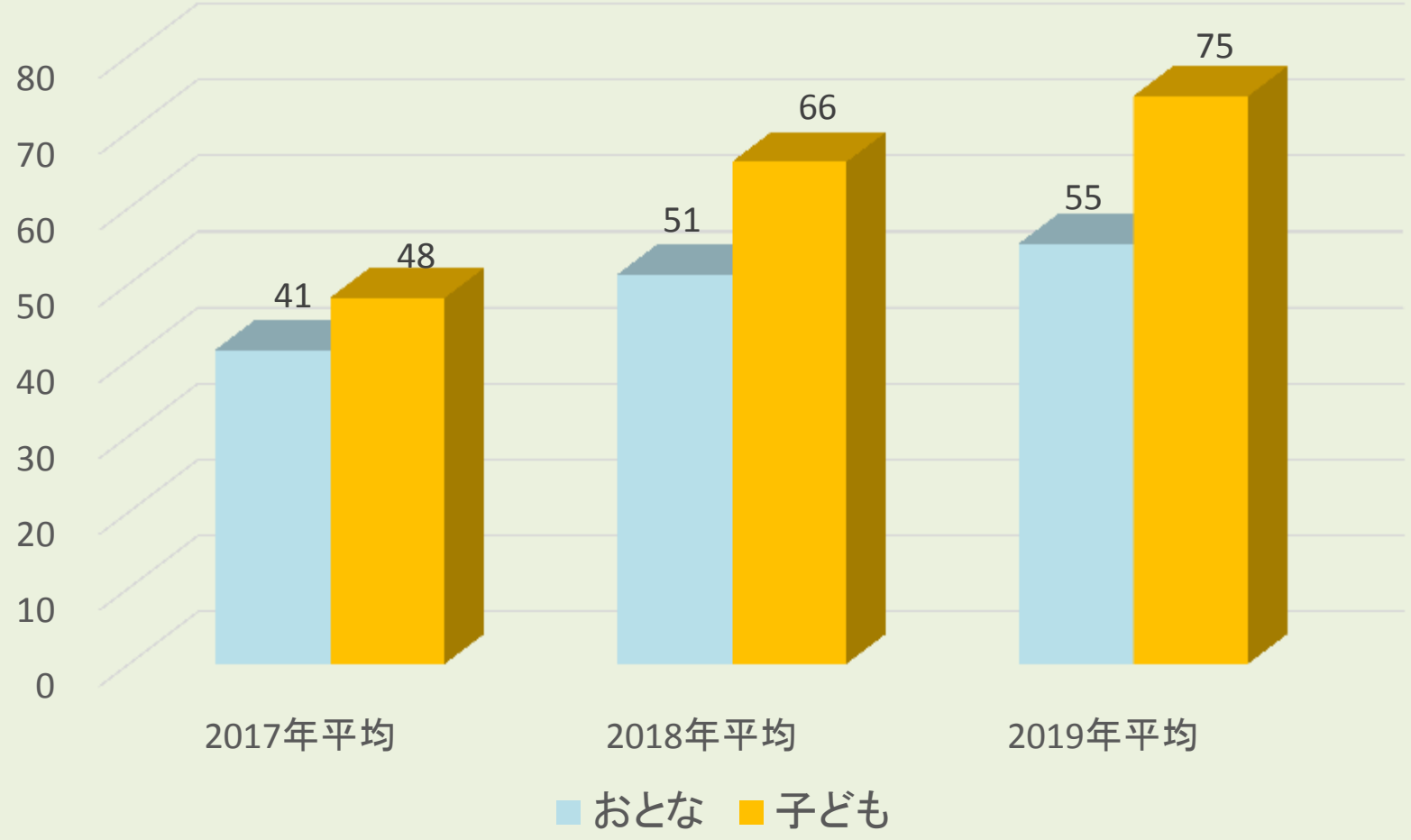
  当初100円を無料にした事で子どもだけの利用も増加

- 赤ちゃんとその兄弟、お母さんの利用も見られるようになる

→子どもの利用の増加

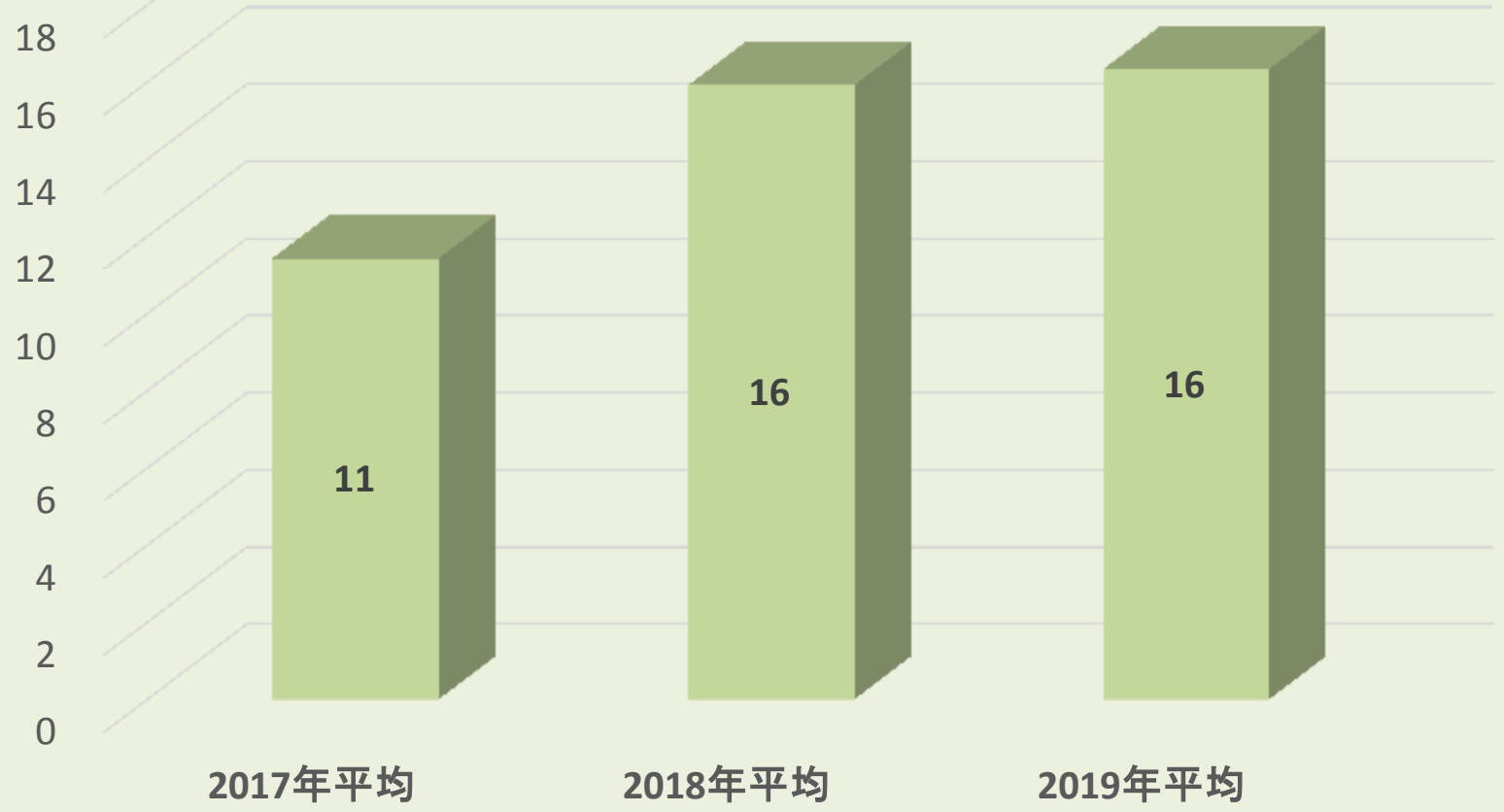
利用者数について

・利用者数の推移



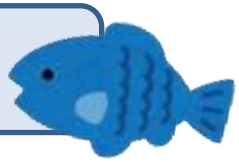
スタッフ人数について

・スタッフ人数推移　登録：スタート15人→現在30人



活動報告 『食事内容について』

「魚料理」を多く提供！



4月　　白身魚のフライ
5月　　ホウボウフライ
6月コノシロ甘酢あんかけ
7月　　いわしフライ
9月ヘダイの甘酢あんかけ
さんま炭火焼きで

魚屋さんの魚勢様がご厚意で下処理をしてくれました

・今年1年、肉料理より魚料理を多く提供。魚は手もかかり高価な食材です。皆さんに喜んで頂けました。

活動報告 『体験』

地域のお年寄りと「おはぎ作り」

高齢の方とのふれあいの場に

ボランティアさんと「竹箸作り」

自然のものを大事にする心が
養えます。そうめん流しで
使用しました。

活動報告『体験』

「みんなで過ごそう！」夏休み1日体験

カレーライス作り

ケーキ作り

ぞうきん縫い

はじめて包丁を持つ子、針を使う子、
経験が自信につながります。

活動報告　イベント『出張子ども食堂』

2019年10月　嘉島東小学校敷地内
「みらいカフェ」にて

熊日新聞掲載

ども食堂 出張ニーズあり

嘉島町の校区 違う校区 交流広がる

嘉島西小の隣の校区である東小学校にて「出張食堂」を実施。約60名の方に利用して頂き、子ども食堂の存在意義を実感しました。

活動報告 『季節のイベント』

2019年4月実施 「進級お祝い会」

お祝いプレート

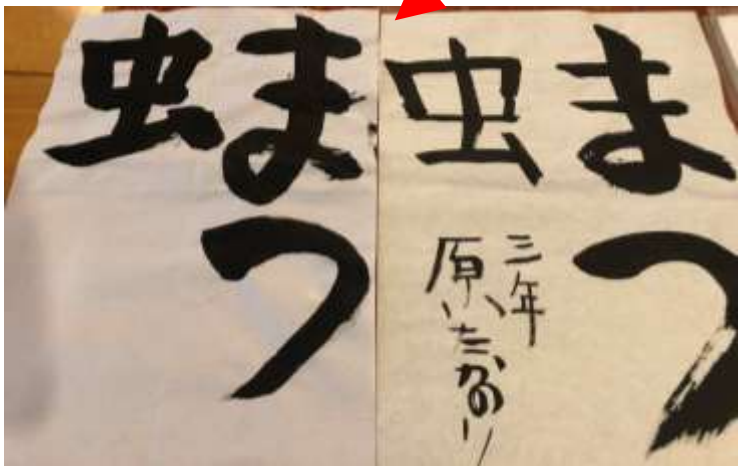
バルーンアートショー

活動報告　『学びの場』start

①習字教室

11月3日開催の
「嘉島町　町民文化祭」に出展

集中力を保って、一生懸命に
書くことができました。



活動報告　『学びの場』start

②そろばん教室

学びの場が、習い事をはじめる
『きっかけづくり』になっています

活動報告 『学びの場』start

③キッズ英会話教室

ゲームなど楽しみも取り入れ
英語に親しんでいます

ハロウィン
イベントの実施
『ピニャータ』
皆で作りました。

協力企業において

マルキン食品の事例

〇市場に出せない商品の提供
納豆、とうふ、こんにゃくなど
〇社員のボランティア参加
①学びの場「英会話」講師
②広報担当

メディア

「だんだん食堂」の取材の中で
マルキン食品を紹介。

食品ロス削減のアピール

社内報

2019年春より、社会活動への意識や理解を深める目的で、社内報「子ども食堂だより」を発刊、スタッフ募集も行う。企業と子ども食堂とのパートナーシップが図れるようになってきました。

学校との繋がりを実感

①嘉島西小学校2年生 「まち探検」受入れ

子どもたちから、お礼の手紙を頂きました。
子ども・地域食堂として学校との結び
つきが強化されました。

2年生の「子ども食堂」訪問

学校との繋がりを実感

②嘉島中学校2年生 「学習成果発表会」

「子ども食堂」を劇として再現！

中学では、先生方との連携もあり、ここでも学校との結びつきの強化が図れました。

学校との繋がりを実感

③熊本商業高校3年生ボランティア参加

皆さん、熊商デパートの店長さんです。
お手伝いに来てくれました。

今後の計画

①スタッフの確保

継続的な支援が3年目の課題。スタッフの確保を計画します。

②場　所

安全な開催場所の確保

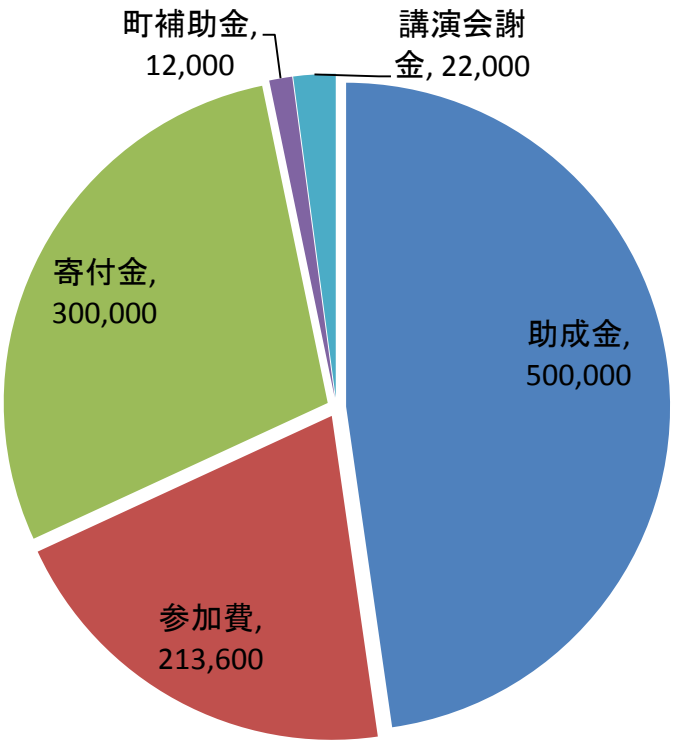
現在は、主催者経営職場である「居酒屋だん」にて、開催。
慣れより、子どもたちの危険な行為も見かけるようになりました。
僅かな家賃でも支払いして、貸して頂ける場所を探したい。

③NPOに組織化

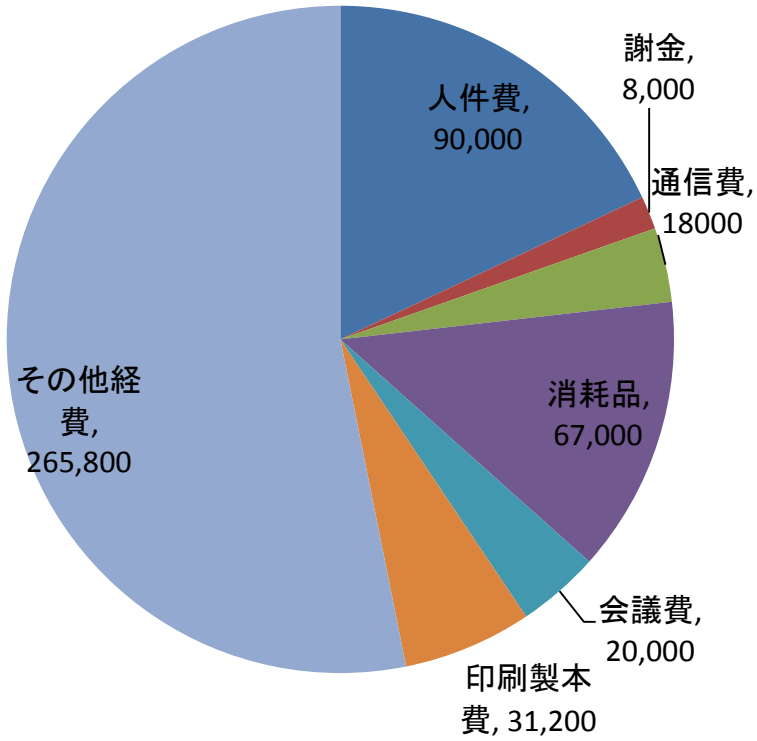
まずは、現在のボランティアスタッフへ意思確認を行いたい。
来年度に向けて進める。

収支（現在）

収入


町補助金, 12,000
講演会謝金, 22,000
寄付金, 300,000
助成金, 500,000
参加費, 213,600

支出


謝金, 8,000
人件費, 90,000
通信費, 18000
その他経費, 265,800
消耗品, 67,000
会議費, 20,000
印刷製本費, 31,200

オルビスくまもと未来基金
２０１９年　活動最終報告

団体名　陽だまりの樹
代表名　堤　雅

”陽だまりの樹”活動紹介

開催日：小学校の給食がない日か
月1～2回土曜日開催

時　間　：12:00～15：00

料　金：子ども10円（ORお手伝い）
大人　300円

- ●子どもからご年配の方まで
- ●働くお母さん達の負担を減らしたい
- ●1人で食べる独食を減らしたい
- ●食堂に集まる皆さんが、笑顔になれる場所

活動報告1　季節食

旬の食材を味合う

1月

七草がゆ　ぜんざい

5月

梅ジュース

7月

とうもろこし

11月

新米のおにぎり

8月

夏祭り

10月

ハロウィン

12月

餅つき

活動報告2　おやつ作り

自分たちで作ろう！

5月

いきなり団子作り

7月

みたらし団子作り

8月

フルーツ白玉作り

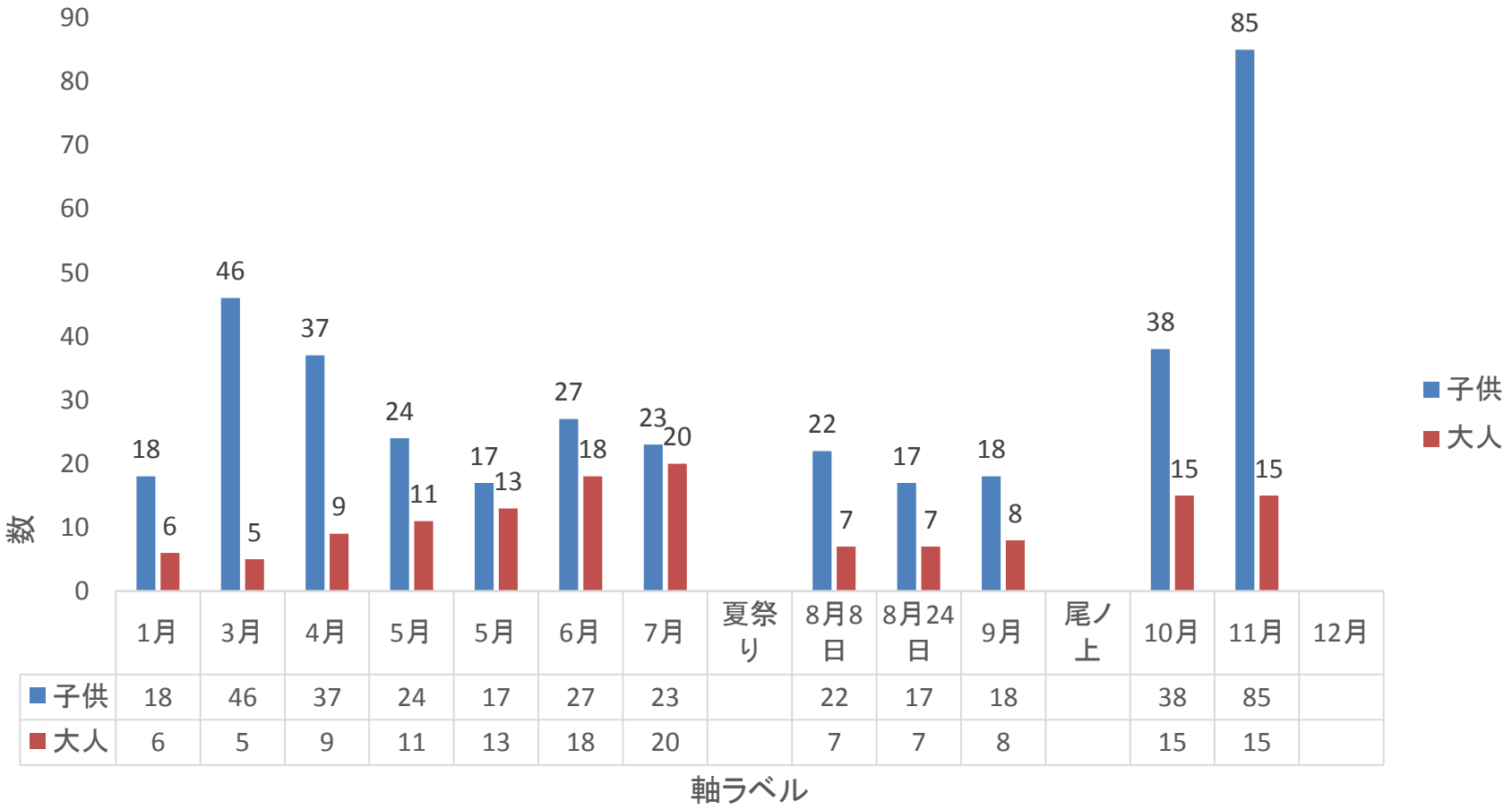
9月

かぼちゃ饅頭

10月

ハロウィンクッキー作り

コミュニティ食堂参加人数

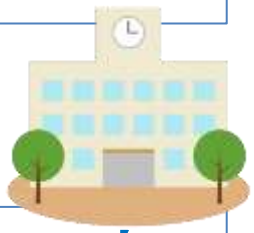


	1月	3月	4月	5月	5月	6月	7月	夏祭り	8月8日	8月24日	9月	尾ノ上	10月	11月	12月
子供	18	46	37	24	17	27	23		22	17	18		38	85	
大人	6	5	9	11	13	18	20		7	7	8		15	15	

開催数　13回　子ども364人　　大人116人（昨年　子ども237人　大人53人）

成果①

小学校から徒歩1分



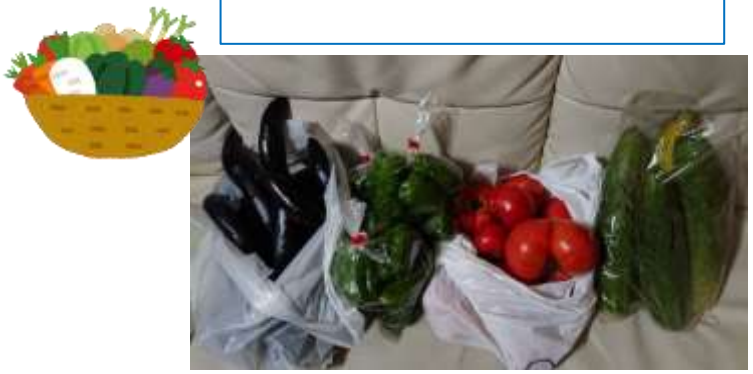
老親憩いの家

利用者が増える

近所の方の利用

お年寄りと子どものふれあいの場

食材の提供



家族の参加

お手伝い

成果②

TUDOU・NET食材シェア
（団体数27）

フードバンク

企業

陽だまりの樹

TUDOU・NETの食材シェアを活用することで、子供食堂のつながりができ、食材だけでなく、情報のシェアができた

成果③　居場所の提供

子ども ＋ 家　族 ＋ お年より

独食をへらす ＋ 交流の場 ＋ 地との連携

「東部まちづくりセンター」
「ささえりあ尾ノ上」 の視察

「ささえりあ尾ノ上」
　活動報告の依頼

町内の「おやの会」と連携で
餅つきを開催予定

成果④（セミナーや個別相談での学びを活動にどう生かしたか？）

- チラシの内容や、開催報告に力を入れるようになったことにより、活動の様子が分かりやすくなり、参加につなげられた。
- 各方面へのチラシ配布や直接話をしに行くことで少しづつ理解が得られ、協力していただける団体も増えた。
- 食堂の参加者がコアメンバーになってくださる方が増えた。

広報活動（成果）

- チラシイラストの作成

- 「熊本市の街つくりセンター」に登録のかたへ開催日をLINEでおしらせ
- 回覧板への地域新聞への掲載

- 登り旗の作成

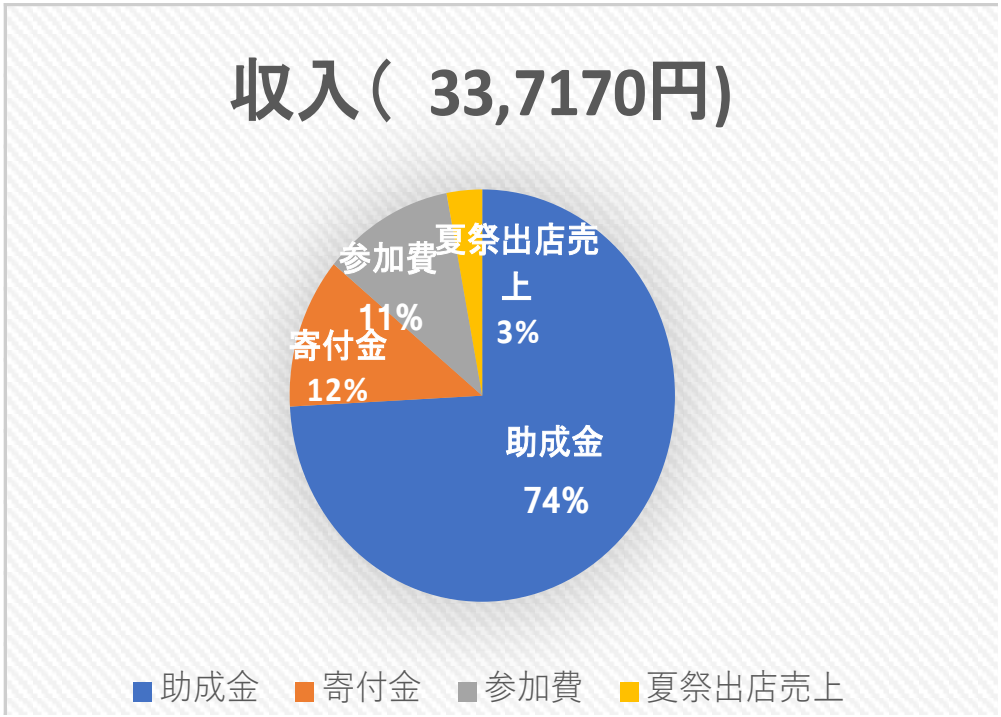
今後の活動目標

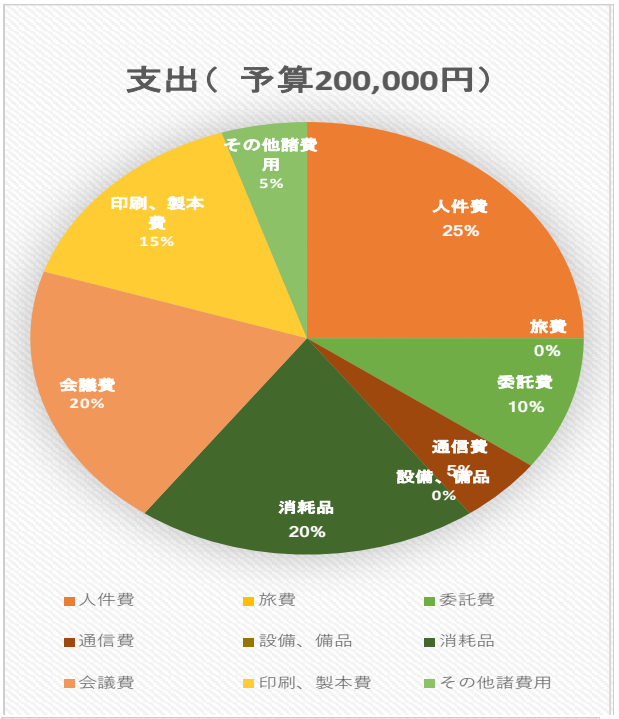
企業からの寄付
ボランティア
募金・寄付

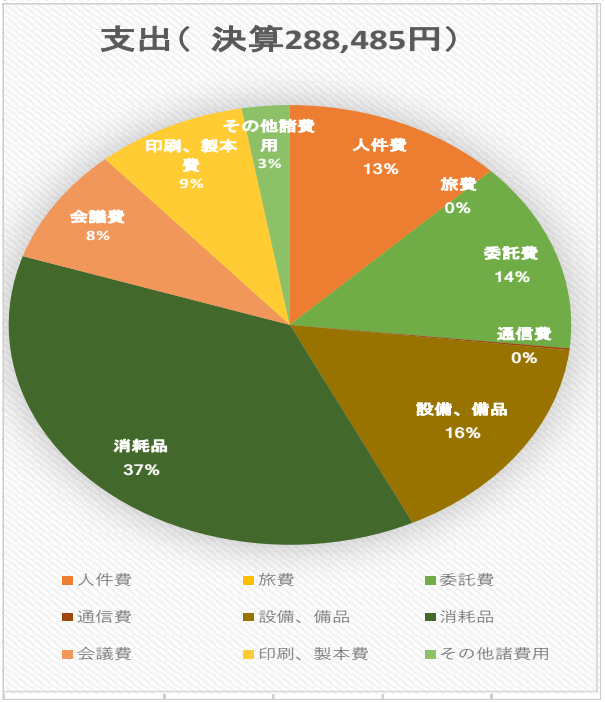
活動資金

団体として自立

収支報告


収入（ 33,7170円)
参加費
11%
夏祭出店売上
3%
寄付金
12%
助成金
74%
助成金
寄付金
参加費
夏祭出店売上


支出（ 予算200,000円）
その他諸費用
5%
人件費
25%
印刷、製本費
15%
旅費
0%
委託費
10%
会議費
20%
通信費
5%
設備、備品
0%
消耗品
20%
人件費
旅費
委託費
通信費
設備、備品
消耗品
会議費
印刷、製本費
その他諸費用


支出（ 決算288,485円）
その他諸費用
3%
印刷、製本費
9%
人件費
13%
旅費
0%
会議費
8%
委託費
14%
通信費
0%
設備、備品
16%
消耗品
37%
人件費
旅費
委託費
通信費
設備、備品
消耗品
会議費
印刷、製本費
その他諸費用

オルビスくまもと未来基金
2019年　活動最終報告

子育てネットワーク
縁側 moyai

子育てネットワーク「縁側moyai」とは

- moyai＝「共同でひとつのことをする」
- 子育てに日々奮闘するママ達をつなげ、孤立した育児を防ぎ、ママ達を笑顔に！との想いで設立
- 「大丈夫！母ちゃんが笑顔でいればきっと全てうまくいく！」「みんなですれば、つらさ半減、楽しさ無限大！」を合言葉に活動中
- 「ゆいまーる」という運営メンバー約70名で様々な活動やプロジェクトを実施中

団体の活動紹介

- 子育てサークル活動（月平均5～6回）

- お裾分けゆいまーる
- 縁側moyai食堂ぐるり
- お互いさまゆいまーる
- 共同購入
- お下がり服・育児グッズ譲渡会
- 農業プロジェクト（収穫体験・収穫ボランティア）

メディア出演

6:22
県産椎茸で料理教室
オノユリ 代表
メディア掲載 (1/2)
オノユリ
子育て世代に“乾しいたけ”伝える
縁側 moyai
オノ代表

くらし
干ししいたけ 子どもにも
“名人”がレシピ伝授
OPEN HOUSE
12/7-12/8
西区池田 実例見学会

シンポジウムのパネリストとして登壇

「ゆいまーるプロジェクト」
～支え合いの場づくり～

報告

活動報告①

- お裾分けゆいまーる

*食事準備の負担軽減・安心安全な食の提供を目的として、プロ監修のレシピを基に会員同士によるお惣菜の共同調理とお裾分け。食材は調味料を含めて可能な限り農薬不使用、熊本県産、九州産、国内産のものを使用。

*1回につき20セット（目安：家族4人分）募集

*利用者負担額1セット2500円（材料費のみ）

*2019年の開催日（原則月に1回）

2/6, 3/15, 4/25, 5/30, 7/2, 9/19, 10/24, 11/21, 12/18

*利用者　のべ180名（moyai会員限定）

- お裾分けを注文するママの視点から・・

  *働くママ、つわり等妊娠・出産に伴う体調不良のママのお助けプロジェクトとして機能

- お裾分けゆいまーると前日準備・当日調理スタッフの視点から・・

  *子育て中で孤立しがちなママ達へ社会との繋がりを持たせ、やり甲斐や家族以外の人の役に立っている実感を持たせる

  *子供から一時でも離れて調理作業に没頭できることで、ママ達のリフレッシュになる

  *ママ達の社会復帰の第一歩として位置づけられる

活動報告②

- 縁側moyai食堂ぐるり

食事提供の負担軽減に加え、ママ同士のコミュニケーションの場を提供。地域の高齢者や大学生にもボランティアでサポートしてもらい、地域交流・世代間交流も促進。

昔遊びの「お手玉」「羽子板」、
また「ぶんぶん蝉」製作を子どもたちにも体験してもらい、伝承文化にも触れてもらった。

利用者負担額　大人500円、小学生200円、幼児100円
一回につき20家族程度募集
開催日　冬休み1/7　春休み3/26　夏休み8/21
利用者人数　のべ200名＋地域サポーター25名

縁側moyai食堂
『ぐるり』

長期休み。子どもの面倒を見ながら毎日3食作るのはママ達にとってかなり大変なことです。縁側moyai食堂「ぐるり」は食を通じて仲間の愛情を届けるママ応援プロジェクトです。
そして異世代交流もできる貴重な場となっています♪

開催日時・参加費

開催日時：長期休みを中心に不定期
時間：11～14時
対象：子連れのママさん（親子20組）
料金：中学生～大人　500円
　　小学生　200円
　　1歳～　100円
　　0歳　無料

問い合わせ先

子育てネットワーク「縁側moyai」
代表　オノユリ
☎08035970447
Email: engawamoyai@gmail.com
HP:　https://engawamoyai.localinfo.jp/

場所：みんなの縁側(中央区水前寺2丁目)
※場所の詳細につきましては、申し込み後にお知らせいたします。

この活動は一般財団法人くまもと未来創造基金
オルビスくまもと未来基金の活動助成を受けて活動しています。

募集中！！

食材のご提供、随時承ります。ボランティアスタッフも募集中です。みんなの笑顔がみられる活動です♪
子育て中の方も大歓迎！！お子様は交代での見守りがあります（＾＾）

縁側moyai

子育てに日々奮闘しているママ達。つい全てを一人で抱え込みがちですが、みんなで互いの子どもの成長を見守り合う「みんなで子育て」をしたら、悩み半減喜び倍増！そんな想いのもと、サークル活動のみならず、支え合いのプロジェクトなど様々な活動を行っています。
「縁側moyaiの仲間がいれば大丈夫！」
そう思えるような場を作っていきたいと思っています♪

≪現在行っていること≫
サークル活動・お下がり譲渡会・託児シェア・料理のシェア・田畑プロジェクト（食育も絡めて！）・農業とママをつなぐプロジェクト

- 茶話会ぐるり

＊高齢者施設「花鏡」（中央区帯山）より依頼を受け、入居者との交流事業を開催。

＊一緒におやつを作って一緒に食べる経験による、異世代交流の場となった。

活動報告③

- 食に関するお話し会の開催

  *やさいろ代表 前田久仁子さんによる講演
  ⇒日々の食事作り、料理に対してママ達が少しでも楽になるヒントを得たい

  *食べたもので“私”ができている
  *食に対する疑問や些細な悩みを解消する機会に

活動報告④

- お互いさまゆいまーる

*子どもの見守りプロジェクト
*対象はmoyai仲間限定（信頼関係によるため）

【見守り事例】
・単身赴任で孤軍奮闘中のママの子ども達
・お裾分けゆいまーる開催時の参加メンバーの子ども達
・子育てサークル開催時の参加者子ども達

- **見守り講習会の開催(全2回)**

＊1回目

・YELLチャイルドマインダー 代表
　高井眞弓さんによる講習会

・見守りに関する不安をワールドカフェ
　形式で意見を出し合い共有した

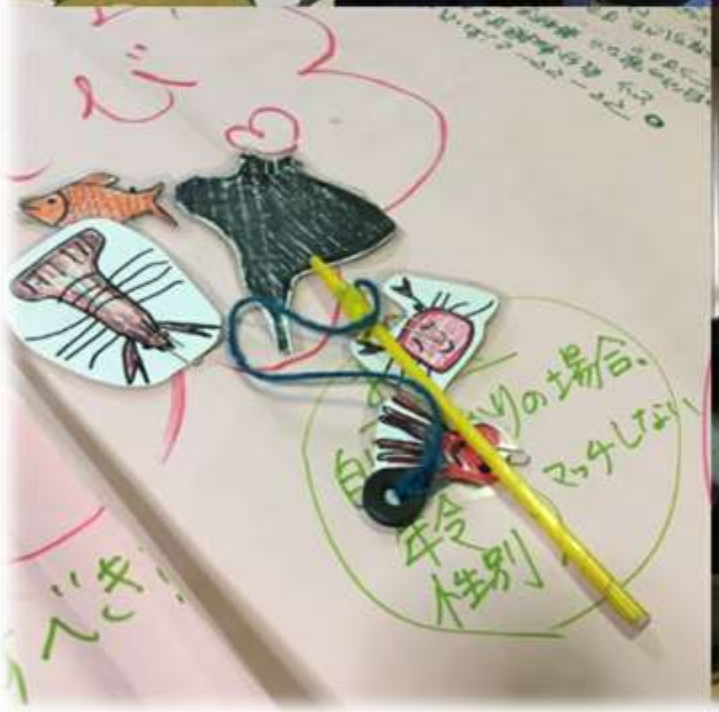
ケガをさせないかが心配
誤飲
ケガをさせないか

- **見守り講習会の開催(全2回)**

*２回目

・個人ベビーシッターイロトリドリ代表
　水上里美さんによる講習会

・子どもとの関わり方、遊び方を中心に
　お話して頂いた


の場合、
マッチしない
年令
性別

子育てネットワーク
縁側moyai

お互いさまゆいまーる

みんなで子育てすれば　やさしさは回る

moyai仲間に相談してね！
LINE@「@bsp6493i」

こんな困ったありませんか？

- ママが急な病気で買い物に行けない！
- もうすぐ引っ越し！ちょっと子どもを見てて
- 上の子を遊ばせてほしい！
- 上の子の通院！下の子を見てくれる人がだれもいない

利用者の声

託児施設が臨時休園　3才児の見守り利用

普段は、保育園に行っている3才年少の娘は、日曜もQキッズで託児をしていただいています。

しかし今回、保育園の運動会ということで、日曜の託児は受付できないと聞いて、親戚も近くにおらず、近所の方も日曜は習い事などで忙しく、頼る当てがなく困っていたところ、「お互いさまゆいまーる」にお願いできることになりました。

初めは、私の見えないところで娘がご迷惑をおかけするのではないかと、気負っていたのですが、ゆりちゃんから、「ご迷惑じゃないよ。お互いさまだよ。さっちゃんも何かあった時はお願いね。」と言われ、「そうか！それが『ゆいまーる』であり、『縁側moyai』のいいところだった！」と思い直し、大船に乗った気もちで預けさせてもらいました。

そして私も、見ていただいたご恩を、何かの形で返していきたい気持ちになりました。

料金について

【見守りで利用の場合①】

サポーターが移動して、お子さんの見守りを2時間する場合

2000円 ＋ 600円 ＝ 2600円

移動する場合の最初の1時間（基本料金）　1時間以降は10分100円 60分なら600円

【見守りで利用の場合②】

サポーターが移動せず、お子さんの見守りを2時間する場合

1000円 ＋ 600円 ＝ 1600円

移動しない場合の最初の1時間（基本料金）　1時間以降は10分100円 60分なら600円

- 買い物等の依頼の場合は、基本的に10分100円で対応いたします。
- 市外からの依頼や複数のお子さんの見守りの場合は、追加料金が発生する場合があります。
- この活動は、保険加入のもと行っている活動です。

まずは一度相談してみませんか？

「お互いさまゆいまーる」サポーターも随時募集中！

参加と協力のための広報工夫

- **会員へのお裾分け・moyai食堂ぐるりの情報配信**
  ‥グループLINE・FB・HP
  *毎回キャンセル待ちがでるほどの予約状況
  *新規利用者も増えているがリピーターも多く、満足度も高い。安定した需要を得ている。
- **会員募集のためのチラシ配布や口コミによる呼びかけ**
  *顔の見える関係づくり。安心安全・信頼関係の構築
  *「共助」の精神による新しいコミュニティ形成
  ⇒コミュニティ・イノベーションのロールモデルに
- レシピ投稿サイト「クックパッド」へ お裾分けやぐるり等のメニューレシピを掲載、共有

セミナーや個別相談での学びを活動にどう生かしたか

- **大量調理用器具の購入による作業時間の短縮・効率化・安全性の強化**
- **会員のワークライフバランスの向上**

  ママ同士のネットワーク構築、働くママ達の負担軽減、安心安全な食の提供、子育てママの社会参加といった多様なニーズの受け皿として、ママたちのワークライフバランスを整える一助に
- **コミュニティ・イノベーションのロールモデルとして情報を発信するための冊子を作成**
- **運営メンバーのスキルアップ（見守り講習会の開催、食品衛生責任者講習の受講補助）**

今後の課題と活動計画

- **支え合いプロジェクトの進化**
- **縁側moyaiのあり方についての検討**

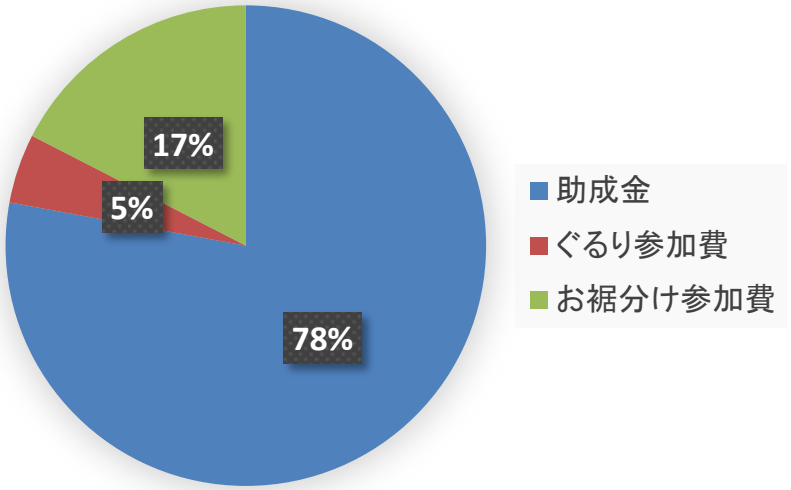
（NPO法人化等も視野に入れた、活動・プロジェクトの見直しと検討、組織作り）

- **縁側moyaiの運営基盤の強化**

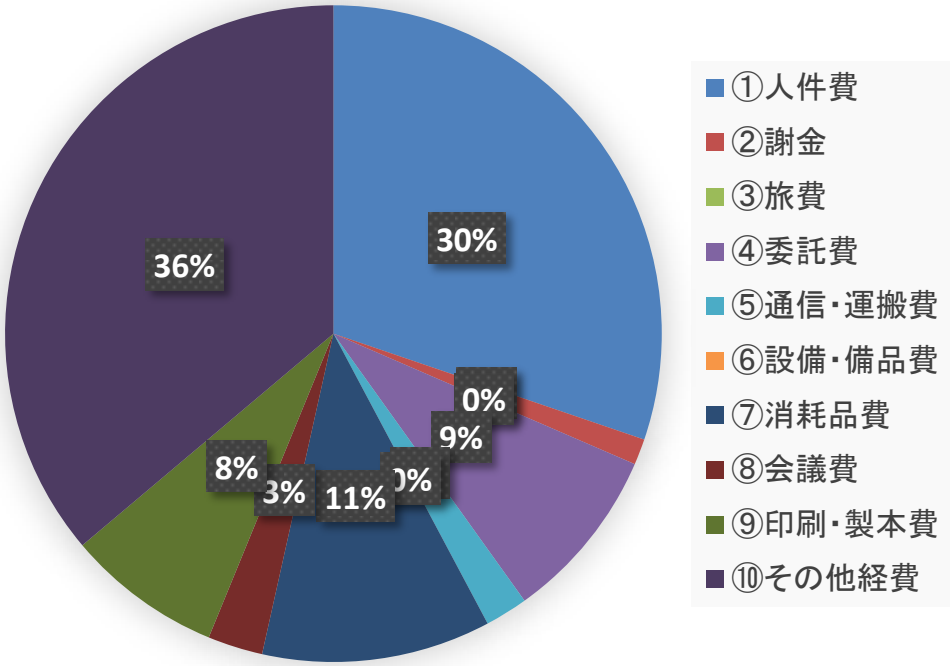
（企業協賛を募るなど）

収支報告（予算）

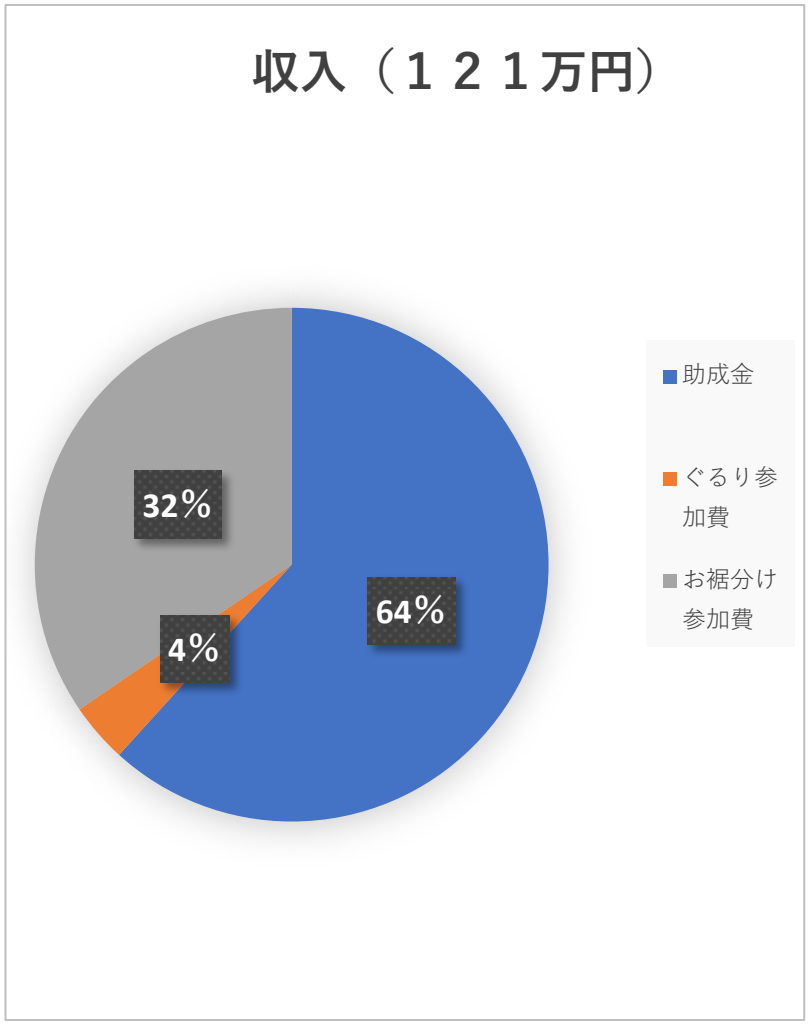
収入（128万円）

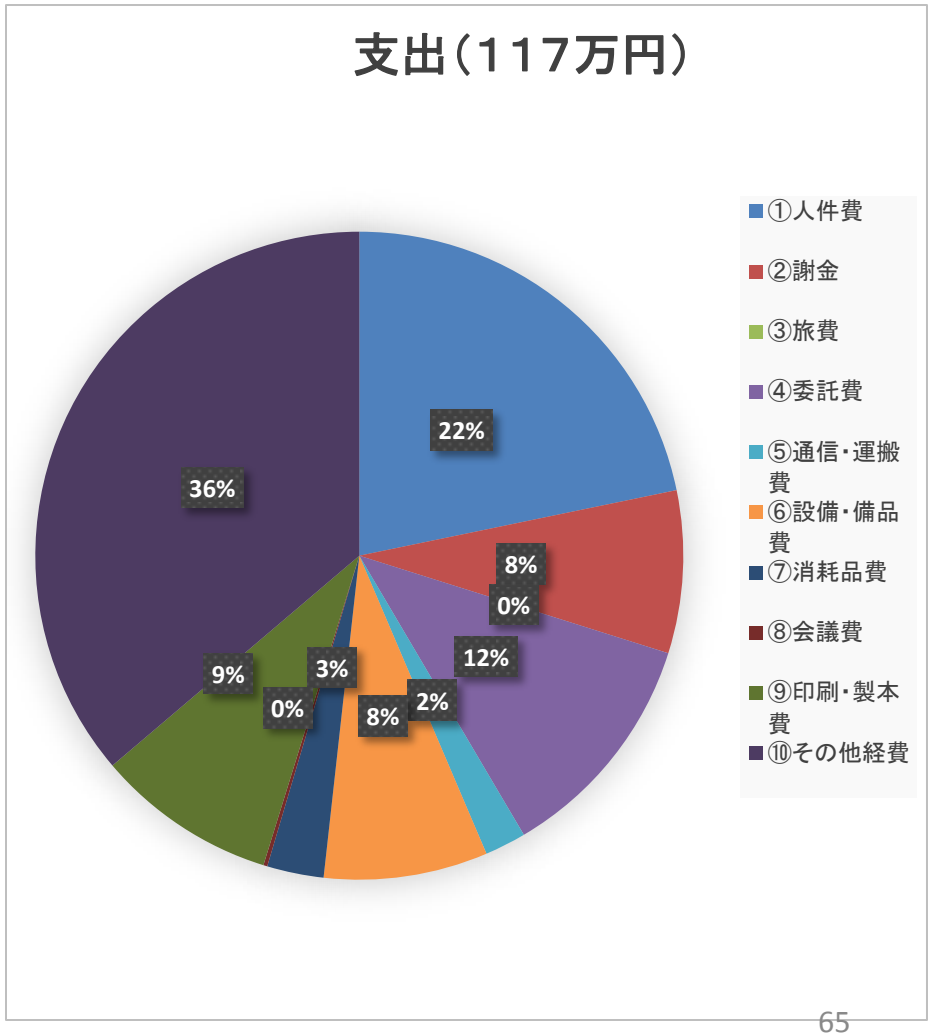


支出（128万円）



収支報告（決算）


収入（１２１万円）
64%
4%
32%
助成金
ぐるり参加費
お裾分け参加費


支出（117万円）
22%
8%
0%
12%
2%
8%
3%
0%
9%
36%
①人件費
②謝金
③旅費
④委託費
⑤通信・運搬費
⑥設備・備品費
⑦消耗品費
⑧会議費
⑨印刷・製本費
⑩その他経費

オルビス熊本未来基金
2019年活動最終報告

団体名：熊本転入ママの会「くまてん」

代表：東山　恵子

活動概要

くまもと転入ママの会「くまてん」

「熊本へ転入してきたママやプレママがスムーズに熊本に馴染み、まるで地元にいるような楽しい生活が送れる」をコンセプトにしたママ（プレママ）サークル

「できるしこ（出来るだけ、出来るかぎり）」が合言葉。

主な活動は、年二回開催の「転入ママウェルカム会」や「キャリアカフェ」の実施、それらのイベント開催に向けたミーティング、ランチ交流会等

活動報告１「第５回ウェルカム会」

日時：2019年6月24日(月) 10:30～13:30

場所：熊本県民交流館パレア10階(パレアホール)

くまてん史上初の規模となる141組280人の参加者
44人のボランティア、52の企業団体からの協力を得て
開催

活動報告１「第５回ウェルカム会」

くまモンふれあいタイム

ウェルカムコンサート

熊本のいいもの抽選会

NHK取材

地域別交流会

協賛企業PRタイム

活動報告2「第6回ウェルカム会」

日時：2019年11月28日(木) 10:30～12:00

場所：ウェルパル熊本１階・あいぽーとイベント広場

53組103人の参加、16の企業･団体からの協力を得て開催

活動報告2「第6回ウェルカム会」

ブースの様子

よかボス企業PR

熊本クイズ

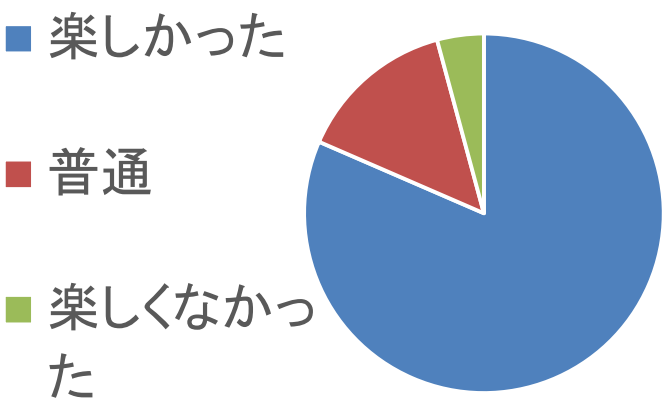
ころう君体操

地域別おしゃべり交

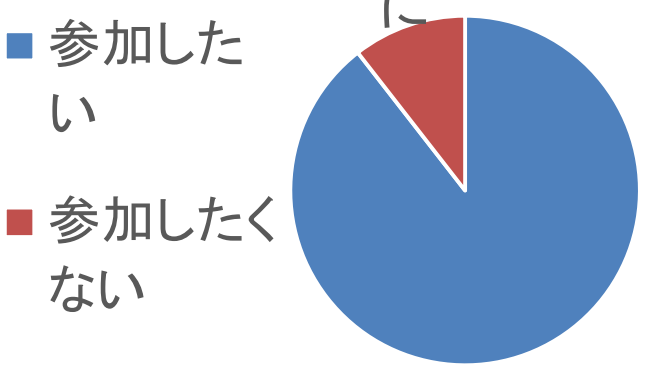
参加者の様子

活動報告1・2「ウェルカム会」参加者の声

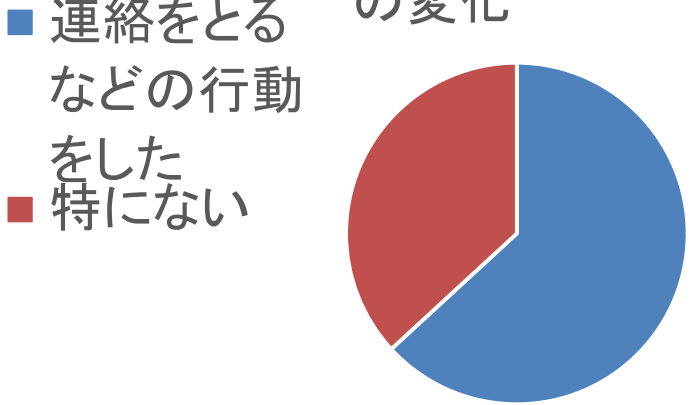
満足度



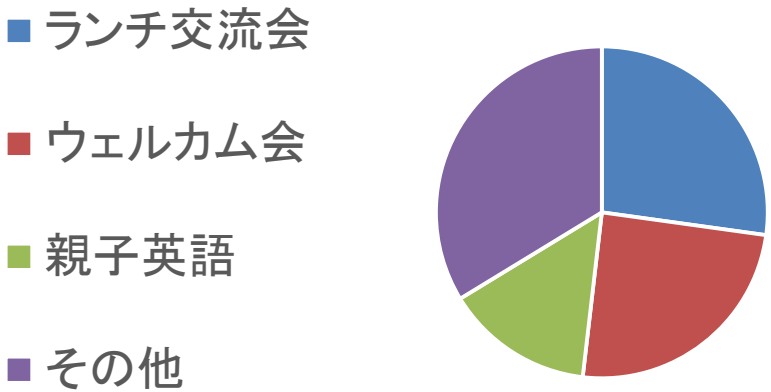
今後、くまてんのイベントに



ウェルカム会に参加しての変化



今後参加したいくまてんイベントは？



活動報告1･2「ウェルカム会」広報実績

事前告知

・メディア：RKK「ゲツキン！」(5/28，5/31)、KKT「てれビタ」(6/10)
・フリーペーパー：WIRE(６月号)、すぱいす(5/31)、あれんじ(6/15)、Webキャロット(5/22～)
・行政関係：熊本市LINE@、中央区Facebook、熊本市結婚・子育て応援サイト
・くまてん：HP、Facebook、Instagram、LINE@
・チラシ(1500部)：熊本市内5区役所、熊本市内15児童館、熊本市内10子育て支援センター、
　熊本県内10保健所、子育てサークル10箇所等

当日取材

・メディア：NHK「クマロク！」
・熊本日日新聞(6/28)
・熊本市公式移住サイト、メー
・熊本県移住サイト

熊本日日新聞

「ようこそ」転入ママ安心

親子連れ招き交流

母親サークル「くまてん」

活動報告３「キャリアカフェ」

夫の転勤や出産で中断されがちな女性のキャリアについて参加者と考える「キャリアカフェ」を三回開催

〇第1回キャリアカフェ「ワンオペ育児」
日程：2019年4月23日（火）

〇第2回キャリアカフェ「おやこ英語」
日程：2019年7月30日（火）

〇第3回キャリアカフェ
「女性リーダーが語る
私が見てきた人生の景色」
日程：2019年8月22日（木）

活動を通しての成果１

参加者の繋がりづくりや
橋渡しができた
ウェルカム会参加者
のべ**194組　383名**

活動を通しての成果２

「くまてん」を応援したい企業、
団体と繋がることができ、
協力を得ることができた

物品提供　　のべ　　２１企業・団体

出展料拠出　のべ　　６企業・団体

成果２～セミナーや個別相談からの学びを活動に活かした点～

オルビスくまもと未来基金の活用により、柱となる事業のシステム構築ができた！

今後の活動計画

～転入ママを支える活動の更なる充実～

活動への御支援ありがとうございました

熊本転入ママの会 くまてん

オルビスくまもと未来基金
2019　活動報告

益城子ども農園　プロジェクト　　代表　　藤井宥貴子

益城子ども農園プロジェクトは
２０１８年　熊本地震の震源地である益城町で、
「子どもたちの笑顔を取り戻すためにできることをしよう！」ということで集まった有志3人とによって結成。

主にひとり親家庭を対象に、農作業の機会を通して
親子のふれあいの機会を創ることから
取り組みをスタートしました。

実施スケジュール

	農園イベント	サポーターの動き
４月		備品購入・HP・畑の準備など
５月	玉ねぎ収穫と原っぱランチ会	コットン種まきミーティング
６月	じゃがいも収穫と原っぱランチ会	コットン手入れ　芋苗植え ミーティング
７月	草取り　種まき	草取り　土づくり　ミーティング
８月	コットン収穫	コットン収穫
９月	コットン収穫	土づくり・備品購入ミーティング
１０月	原っぱランチ会とお芋ほり （２回）	ラディッシュ種まき
１１月	仮設の方々との交流　（１回）	玉ねぎの苗植え　学習会参加
１２月	仮設でのクリスマス会に参加 焼き芋ボランティアにお芋と人参を提供	望年会　ミーティング

活動報告①　農作業と原っぱランチ会（５月・６月）

③原っぱランチと玉ねぎの収穫（10月１日）　　参加親子　7組　　全20

④原っぱランチとジャガイモ堀（10月１日）　　参加親子　6組　　全22人

たくさんの玉ねぎが収穫できて子どもたちは大喜び。

＊天候と農作物の成長に左右されるため広報が徹底できず、
　参加者が少なかった

活動報告①　農作業と原っぱランチ会（秋）

①さつまいも収穫と原っぱランチ会（10月22日）参加親子　27組　　全76人

②さつまいも収穫と原っぱランチ会（10月26日）　参加親子　10組　全31人

＊広報と口コミで広がり、参加者は春の2倍に。サポーターも様々な分野から10名以上集まった。

活動報告②　収穫した野菜の提供（250世帯）

収穫したじゃがいもや玉ねぎやサツマイモを、支援団体を通してひとり親家庭や子育て支援の現場に提供。

①シンママ応援団　　フードバンクへの提供　（３０世帯）

②NPO団体　大きな木（つどいの広場）への提供。同会で取り組む、ママたちのお弁当事業に活用された（およそ１００食分）

③熊本県ひとり親福祉協議会　会員への野菜提供（およそ２００世帯）

④仮設住宅の皆さんへ　（１００世帯）

活動報告③　NPOや高齢者団体との場の共有

●益城町の小学生を対象に、放課後児童の預かり事業を行うNPO団体ファンフィットと農園をシェア。農園での収穫体験や原っぱでのサッカーなどを、放課後や土曜日などに実施した。

（益城町小学生　　延べ２４００人）

●益城町でグランドゴルフを楽しまれているシニアの方々が、平日の昼間、子どもたちが畑を利用しない時間帯に利用。草取りなどを協力してもらうということにした。

（益城在住の高齢者　　延べ３５０人）

活動報告　④　　仮設入居者・支援者との交流

惣領仮設の方々とのお茶会の様子（１８人）

仮設の方々と支援者との望年会（１２人）

活動報告⑤　サポート体制・環境整備について

●基本的には毎月のミーティングと農作業は、できる人ができる時に実施した。

●プロジェクトメンバーだけではなく、地域の方々にもサポートしてもらうことができた。

●スタート時はかなり混乱したが、フェイスブックや口コミなどで支援者が集まり、イベント時などに声を掛けられる人が増えてきた。

法人化についての協議

●予算を設備費に回して、野外での調理器具や不足していた食器、椅子、テーブルなどの数を増やすなど備品を揃えた。

＊設備のシェアも可能

＊活動を通して見えてきたこと

●畑を通しての活動は、天候や農作物の成長などのタイミングが合わず、
予定通りいかないことの方が多かった。

●色々な人が**つながりあう**ことで利用者も**可能性も広がって**いった

●農園に来た親子を通して**子育て世代の孤立化**の状況が垣間見れた

●綱引きや縄跳びに**夢中になり**スマホで遊ぶ子どもがいなかった

●参加した人の笑顔や**リラックスした表情が**多くみられた

＊スタート時に目標に掲げた益城母子会の設立は実現に向けて動き出した

今後も継続していくべき大事な活動だと実感！

関わってくれた人も少しずつ増え、さらなる可能性が見えてきた

場の共有を通してつながった人の輪

●農園をシェアする人たちをさらに増やす！

学校や保育園、団体や企業など、農園をシェアする人たちを増やすことで場の活性化を図る　＊一定のルールと使用料の発生

●原っぱランチ＝地域（子ども）食堂

地域や異世代交流の**地域食堂**と位置付け、定期的に実施してもよいのではないか。　＊天候に左右されるのが難点。

学習会からの学びで、新たなチャレンジが進行中！

■ 赤ちゃんの誕生をみんなで祝おう！(思いの共有)

益城コットンが入った布で、赤ちゃんのファーストにぎにぎを仮設入居の方々と共に手作りするプロジェクトが始動（年間３００人の予定）

益城産のコットンを混ぜた布を使って、赤ちゃんの初めてのおもちゃを作って贈ろうというもの。作製は惣領仮設にお住いの皆さんに協力いただきます。

イメージ写真

取り組みを継続していくために必要なこと

①マンパワーの確保～組織化へ

有志の集まりから思いを共有できる人たちのゆるやかな組織を設立する。

地元の保育園や小学校など、農園（場）を共有する団体を増やしていく

②事業の確立へ

農園事業を核にした新規事業の開拓

（農産加工品の販売・農園カフェ・体験活動・食と健康のアカデミー）

③資金調達の仕組みづくり

活動資金を確保していくための仕組みづくり

会費・寄付・助成金・事業収入　など

夢は大きく！

２０１８年
３月有志が集まり畑の整備をスタート

４月オーガニックコットの種まき～夏には収穫

２０１９年助成を受け本格活動開始

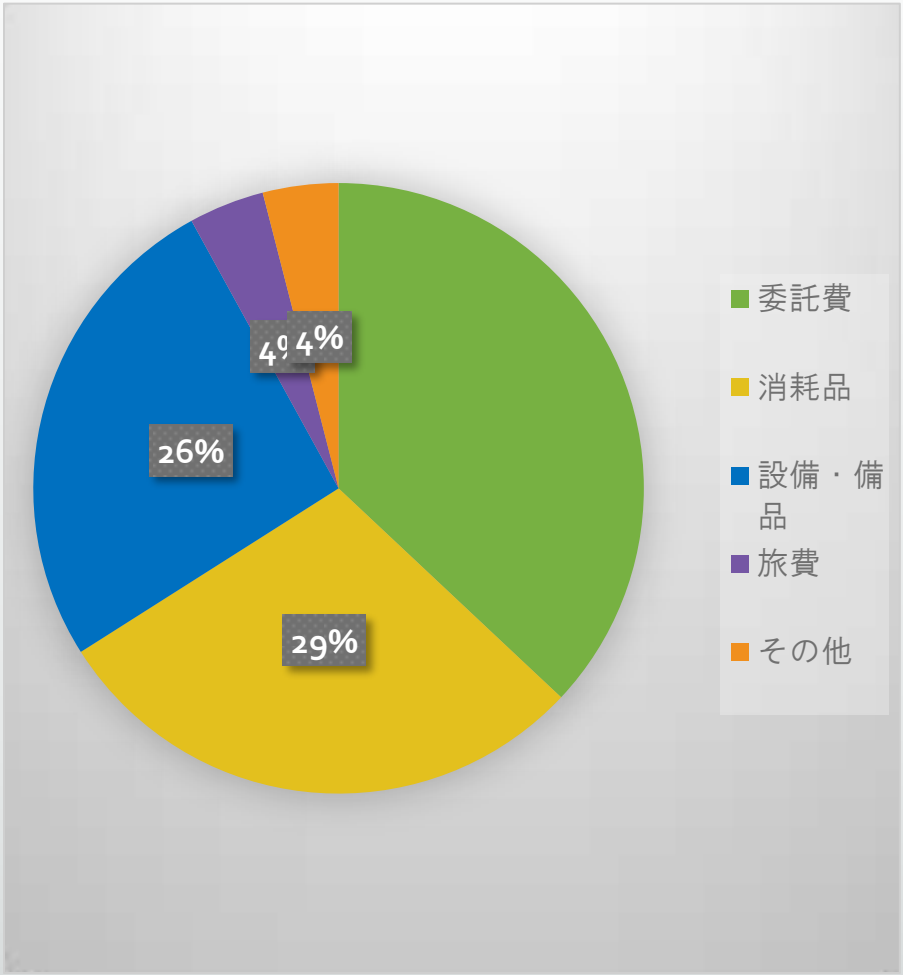
農作業と原っぱランチの会　他

２０２０年～
団体の組織化へ
新たな拠点づくりをスタート

２０２２年　法人化
拠点完成
新規事業の展開

会計報告　（12月10日現在）

費目		金額
人件費		
旅費	2000×12名	24000
委託費	広報　その他	183628 ＊予定
消耗品	種・苗・燃料など	144379
設備・備品	食器・テーブル・日よけなど	127993
その他経費	借地・水道代など	20000
合計		500000



オルビスくまもと未来基金
2019年　活動最終報告

HAPPY PARKプロジェクト
代表　　大橋　益由規

❶HAPPY PARKの活動紹介

HAPPYPARK
~街中×子育て×遊園地~

日時：2019年5月18日(土)
時間：10:00 - 18:00
場所：サンロード新市街アーケードと花畑広場

「ママがHAPPYだと皆もHAPPY」

- 子育てイベントの風物詩に
- 家族全員が楽しい

HAPPY PARK
街中×子育て×遊園地
~vol.2

日程：2019年11月30日(土)、12月1日(日)
時間：10:00 - 17:00
場所：サンロード新市街アーケードと辛島公園

「子どもの笑顔で　人も街もHAPPY」

- 女性やママに発表の場を
- 女性の健康・就労・育児相談

①HAPPY PARKの活動紹介

HAPPY PARK

~街中×子育て×遊園地~

2019年5月18日開催

◯出店者数：全部で63店舗

・花畑広場

ハンドメイド・アクセサリー：18店舗

フード　　：22店舗

遊び　　：　1店舗

・新市街アーケード

癒し　　：3店舗

子育て・復職：9店舗

親子ワークショップ：10店舗

◯スポーツ広場（4種目）

・ボルターズゴールカー　・トランポリン

・ハンドボール　・ボッチャ（無料

◯ステージ出演者（8団体）

◯ボランティア（35名）

◯協力団体

熊本市新市街商店街振興組合など

7団体

◯協賛企業　17社

◯木のおもちゃ遊園地

新市街アーケード内に40メートル展開

（大型木製遊具も含む）

①HAPPY PARKの活動紹介

HAPPY PARK

~街中×子育て×遊園地~vol.2

11/30(土)、12/1(日)開催

◯出店者数：２日間でのべ103店舗

・辛島公園
　ハンドメイド：11/30 6店舗 12/1 5店舗
　フード　　：11/30 13店舗 12/1 15店舗
　遊び　　：　11/30 1店舗 12/1 1店舗
・新市街アーケード
　ハンドメイド・癒し：
　　11/30 17店舗 12/1 18店舗
　育児・就業等相談：11/30 3店舗 12/1 8店舗
　ワークショップ：11/30 6店舗 12/1 6店舗
　　学生ブース：11/30 2店舗 12/1 2店舗

◯木のおもちゃ遊園地

新市街アーケード内に26メートル展開
（大型木製遊具も含む）

◯スポーツ広場（4種目）

・ボルターズゴールカー　・トランポリン
・ハンドボール　・ボッチャ（無料）

◯ステージ出演者（15団体）

◯ボランティア2日間でのべ80名参加

◯協力団体

熊本市新市街商店街振興組合など
16団体

◯協賛企業　17社

②HAPPY PARK の特徴

幅広い年代・様々なニーズに答えるコンテンツがいっぱい

他の子育てイベントにはない
オリジナルな内容

子どもが大人になるまでの
長期的な思い出になる

街のイメージアップへ

②HAPPY PARK の特徴

多様な子育て・母親・女性のニーズに応える場・出会いの場

ママ作家によるハンドメイド
雑貨やアクセサリー販売の場

母親・女性の転職・
就労相談

ひとり親支援・子ども食堂

産後ケアや女性の
健康相談

最新の子育てグッズの
体験

子どもだけでもない、大人だけでもない、家族みんなが楽しめるイベント

②HAPPY PARK の特徴

フード・ハンドメイド
アクセサリーブース
科学実験

スポーツ広場

木のおもちゃ遊園地

ワークショップ・癒し
育児・復職相談ブース

ステージ

②HAPPY PARK の特徴

中心市街地の魅力UPで街中のにぎわい創出

◯木のおもちゃ遊園地やスポーツコーナーを展開したことで
来場者の滞留時間が長い

◯ステージパフォーマンスを行ったことで**来場者だけでなく、外国人観光客や通行人も多く足を止めて注目する姿が見られた**

◯**電車通りを横断しての人の往来の創出**

❸新しい試み

学生の社会経験・ビジネスを学ぶ場の提供

学生も大きな
子どもと捉えて

学生の
出店計
画募集

出店ブー
スの提供

学生の社
会体験の
場

若者にとって、
熊本の魅力アップへ

若者が熊本に残るきっかけを作る
タネをまく社会貢献事業として

③新しい試み

❹パートナー協賛企業様の参加

⑤街中HAPPY PARKの広報活動

HAPPY PARK

~街中×子育て×遊園地~

2019年5月18日開催

◯紙媒体

・フライヤー**11万部**
(幼稚園・保育園・小学校関係へ配布)
・ポスター100部
(協賛社・出店者・公共施設などへの貼り出し)

◯WEB関係

・HAPPY PARK 公式WEBサイト制作
・Facebookページ＆イベントページ作成
・YouTubeチャンネルにて動画配信
(協賛企業・出店者の紹介)
・SNS配信＆シェア

◯新聞・雑誌掲載

タンクマ5月号・九州ウォーカー5月号
5月14日　熊日夕刊 ひと輝く
5月16日　朝日新聞 朝刊、
5月16日　熊日朝刊、すぱいすお出かけ情報欄

来場者数約1万人

◯テレビ・ラジオ出演

5月14日 9:50～　TKUかたらんね生出演
12:00～　KABの取材
13:00～　FMやつしろ 午後1時～
『かっぱのoh!ちゃちゃ』
5月16日 16:50～　KKTてれビタ生告知
18:00～　KABニュース特集
5月17日 18:40～　RKKラジオに生出演
5月18日　RKKお昼のニュース
5月19日　TKU夕方のニュース
5月20日　KKT夕方のニュース特集
5月21日　ケーブルテレビニュース

⑤街中HAPPY PARKの広報活動

HAPPY PARK
~街中×子育て×遊園地~vol.2
11/30(土)、12/1(日)開催

○紙媒体

・フライヤー12万部
(幼稚園・子ども園・小学校関係へ配布)
・ポスター100部
(協賛社・出店者・公共施設などへの貼り出し)

○新聞・雑誌掲載

11/26 SPICEお出かけ情報
11/29 熊日お出かけ欄
12/6 熊日朝刊特集記事

Look!
ママたちのスゴ技販売
1万人集まる人気イベント

来場者数2日間で約3万人

○WEB関係

・肥後ジャーナル記事
事前記事 11/20
レポート記事 12/1
・HAPPY PARK 公式WEBサイト制作
・Facebookページ＆イベントページ
インスタグラムページ作成
・SNS配信＆シェア
FMK各種インフォメーション

○テレビ・ラジオ出演

11/29 KKTてれビタ 生告知
11/27 ジェイコム 電話生出演
11/19 FMやつしろ
かっぱのoh!ちゃちゃ 電話生出演
11/30.12/1 TKU、KKT ニュース
取材取り上げ
FMK各種インフォメーション

⑤街中HAPPY PARKの広報活動

12月8日
くまもと
チャレンジャーAWARD2019

12月15日
KKT拓人”夢”プロジェクト
アイディアプランコンテスト

発表と大きな学びの機会をありがとうございました

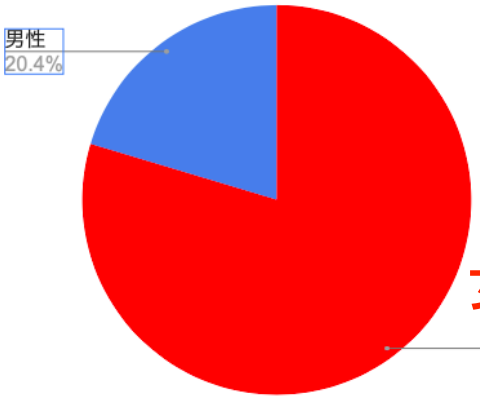
⑥来場者の分析

HAPPY PARK

~街中×子育て×遊園地~vol.2

11/30(十)、12/1(日)開催

来場者の性別



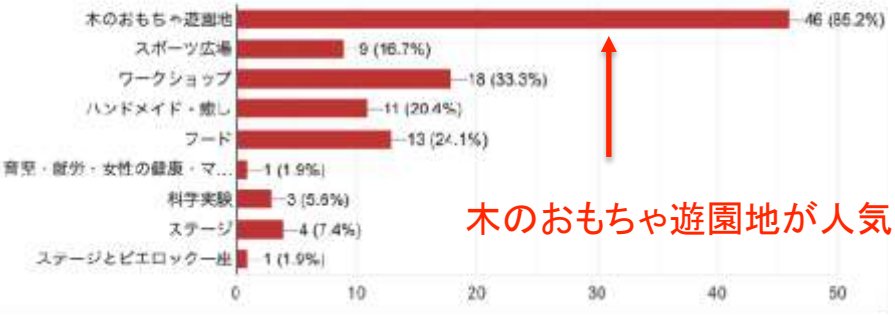
女性が約80%

何でこのイベントを知りましたか？

チラシの効果大

1番楽しかった・良いと思ったコーナーは何ですか？（複数回答可）

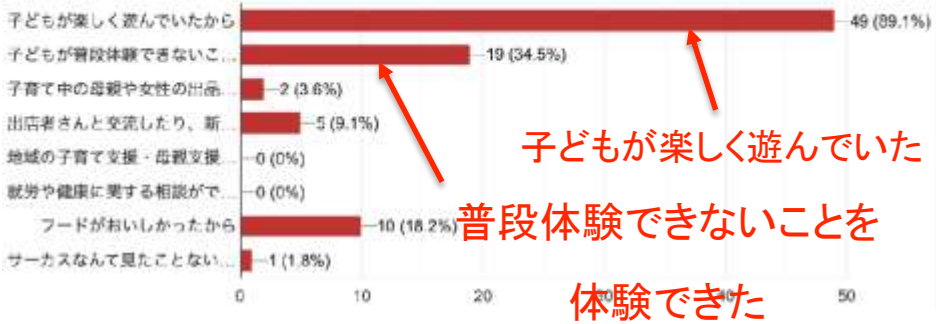
54 件の回答



木のおもちゃ遊園地が人気

前の質問で、楽しかった・良いと思った理由は？（複数回答可）

55 件の回答



子どもが楽しく遊んでいた

普段体験できないことを

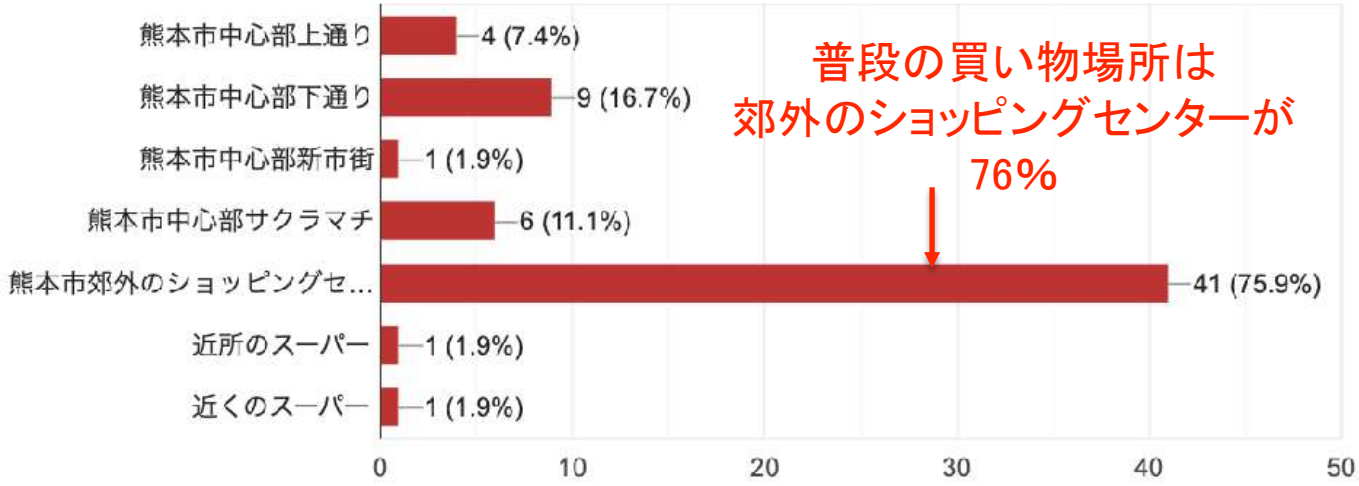
体験できた

⑥来場者の分析

HAPPY PARK
~街中×子育て×遊園地~vol.2
11/30(土)、12/1(日)開催

普段、買い物をする時に行くのはどこですか？（複数回答可）

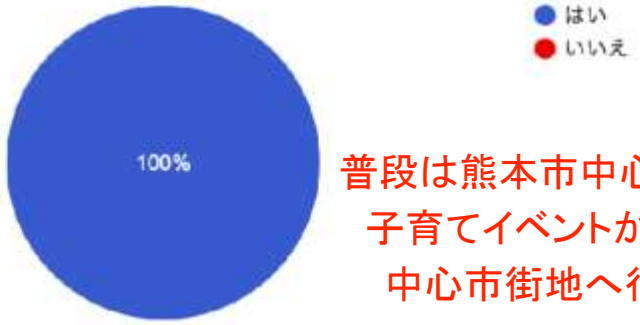
54 件の回答



普段の買い物場所は
郊外のショッピングセンターが
76%

今後、熊本市中心部でHAPPY PARKのような子育てイベントが開催されることで、熊本市中心部へ出向くことが増えると思いますか？

55 件の回答

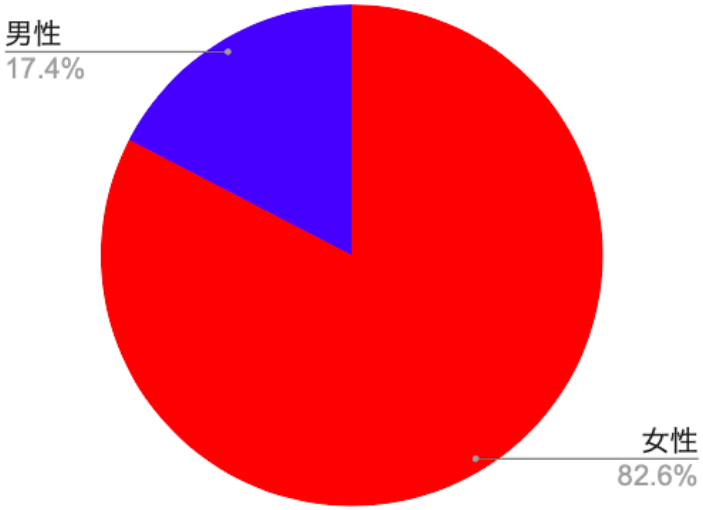


普段は熊本市中心部に来ないが、
子育てイベントがあれば熊本市
中心市街地へ行きたいと思う

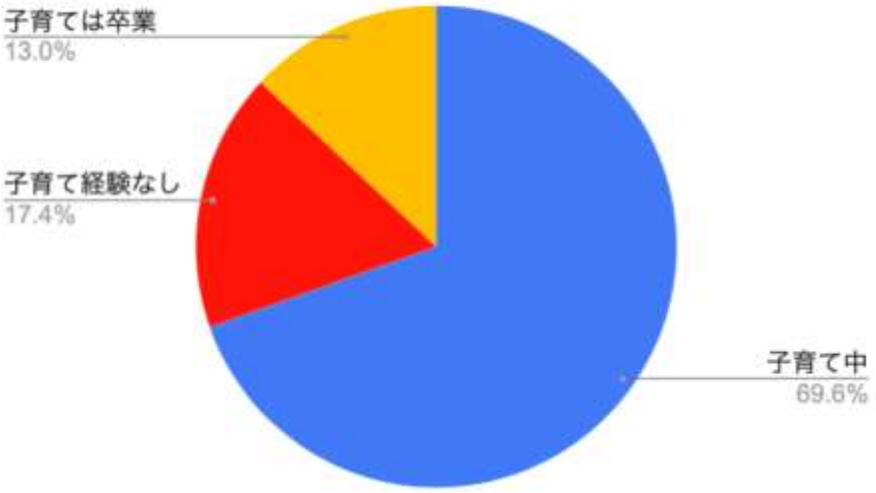
❼出店者の分析

HAPPY PARK
~街中×子育て×遊園地~vol.2
11/30(土)、12/1(日)開催

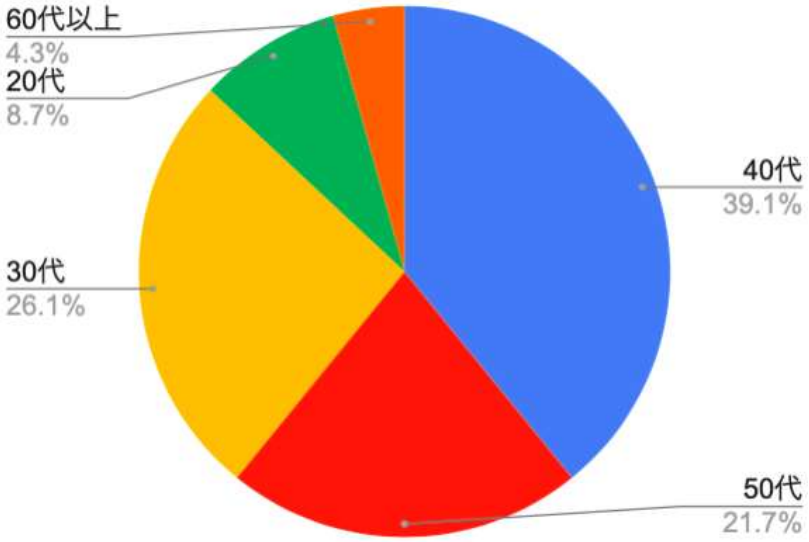
出店者の状況：性別



出店者の状況：ライフステージ



出店者の状況：年代

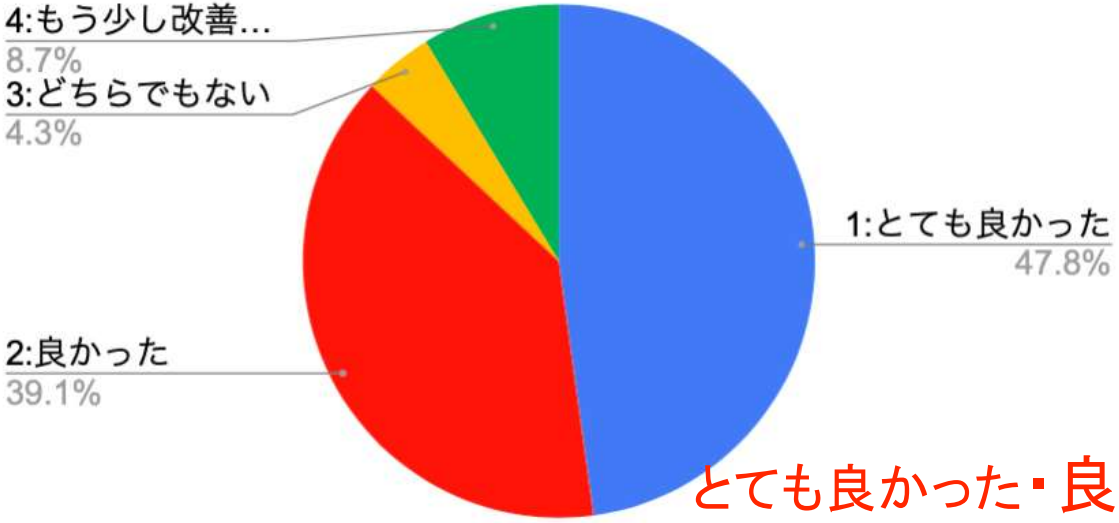


出店者は子育て中の女性が多く、
年代は30代から50代が87%

⑦出店者の分析

HAPPY PARK
~街中×子育て×遊園地~vol.2
11/30(土)、12/1(日)開催

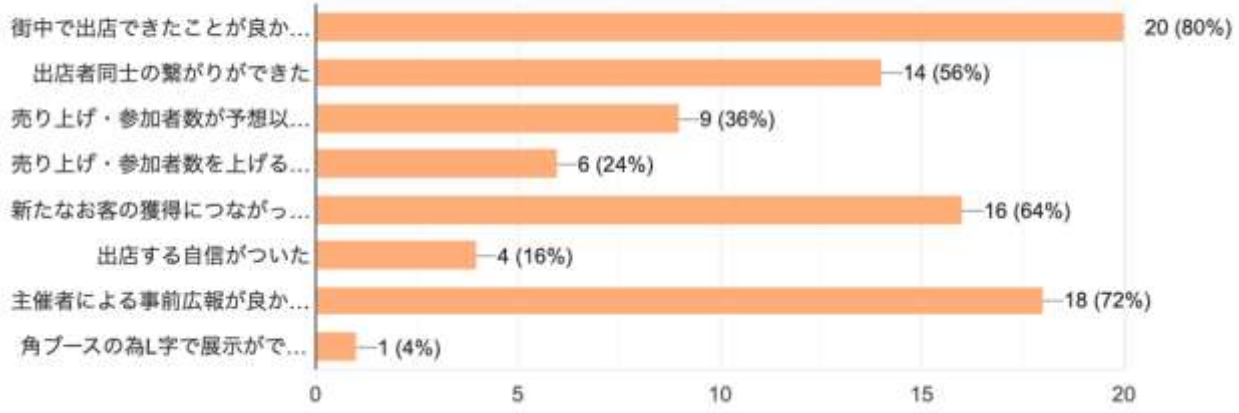
今回の出店についての総合的な感想をお聞かせください（回答数23）



とても良かった・良かったを合わせると87%

今回の出店で良かった点を教えてください（複数回答可）

25 件の回答



⑧セミナーや個別相談での学びを活動にどう生かしたか？

- 合言葉と予算をまず決める ⇨ お金と事業イメージを明確化して伝える、伝える、伝える

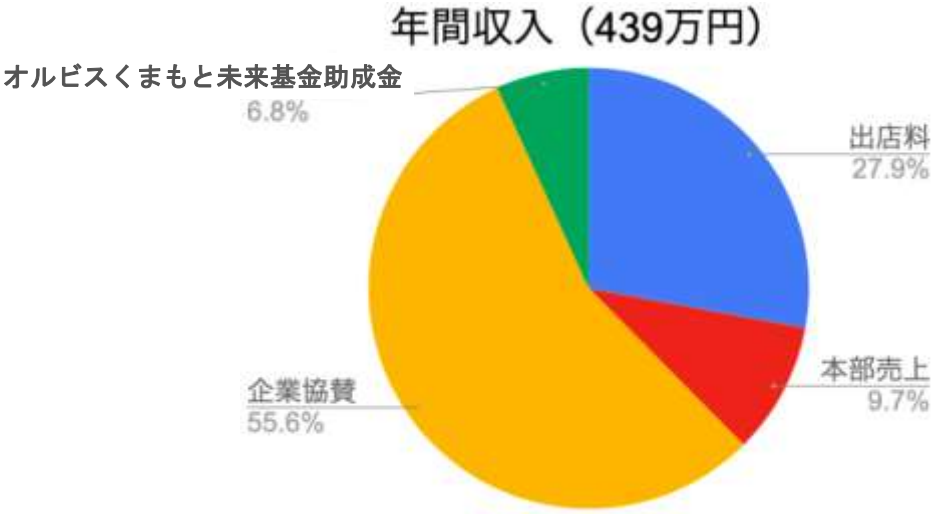
「ママがHAPPYだと皆もHAPPY」

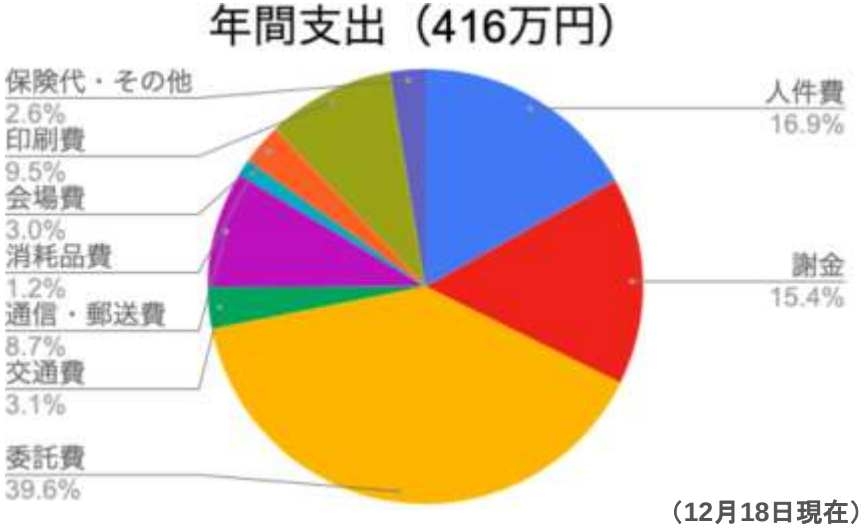
「子どもの笑顔で　人も街もHAPPY」

- 早めに、思い切って、あらゆるものを、いろんな人に協力を求める。

その他にもご協力をありがとうございました

⑨HAPPY PARKのめざすところ





（12月18日現在）

将来：熊本から全国に発信したい

第3回（来年5月頃）：イベントとして定着させる

第2回（11/30・12/1）：2days開催で熊本の応援企業を増やす

第1回（今年5月）：中心市街地での初めての大規模子育てイベント開催

❽HAPPY PARKのめざすところ

一人一人が自信を持つ

熊本が明るく・魅力UP

まちづくりに貢献

熊本から全国に発信

⑩HAPPY PARKの未来

オルビスくまもと未来基金
2019年　活動最終報告

団体名：ハロウィンマルシェ実行委員会

代表名：中村　絵里加

団体の活動紹介

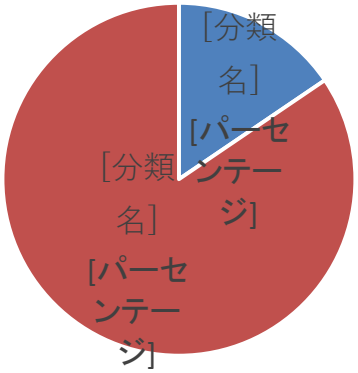
ハロウィンマルシェ実行委員会は子育て真っ只中の主婦４人で
形成されている団体です。
子育て中のママである私達だからこそ作り出せるものがあるという
信念を持って“こどもが主役のハロウィンマルシェ”というイベントを企画しました。
私たちの"想い“に共感し、背中を押してくれた
沢山の方々のおかげで、成り立っているのだと、
イベントを終えて改めて実感しております。

最近では「スマホ育児」という言葉があるように、
家族とのコミュニケーションがなく、受動的な子どもが増え、
主体性・自主性を持った子ども達が
減ってきているのではないかと感じています。
この活動を通して、「自分で決め、自分で選び、自分で学ぶ」といった
自立した子どもを育てることを課題に、
販売体験やステージ出演といった活動に力をいれております。
また、家族とのふれあいの機会を提供し、子ども達の豊かな感性を
育むことでこれからの時代に必要とされるクリエイティブな子が
育っていって欲しいという想いを形にしたイベントです。

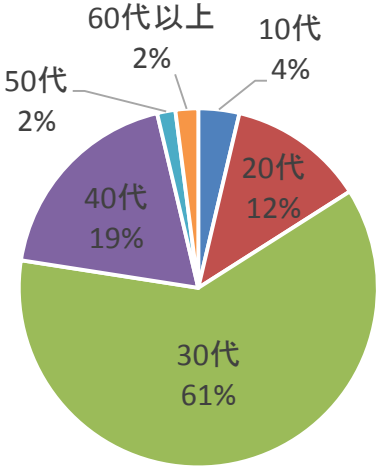
活動報告1

※スタンプラリー参加者(保護者）に調査

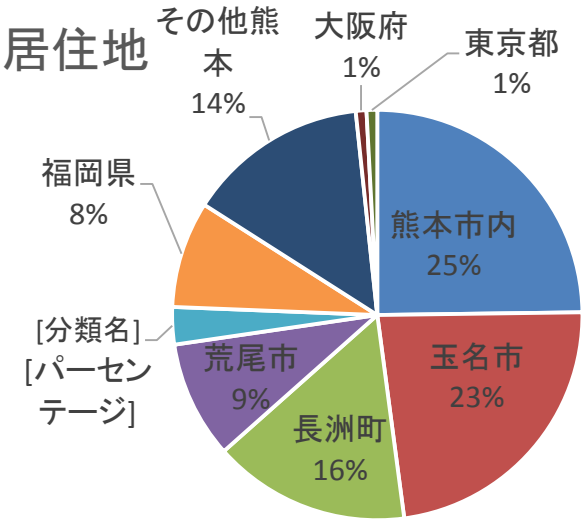
性別



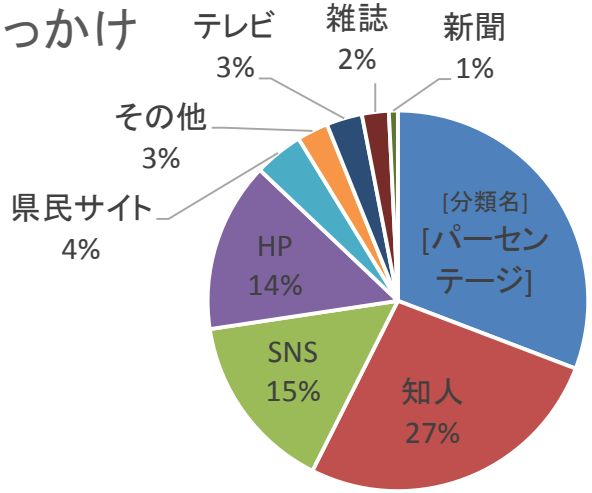
年齢



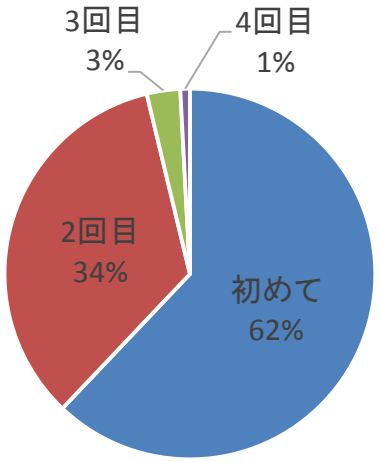
居住地



きっかけ



来場回数



活動報告2

①2000個のお菓子のプレゼント

②実行委員手作り遊具満載の“遊び場ブース”

③ふれあい移動動物園

④物販・飲食店の販売

⑤体験・ワークショップ

⑥こどものお店屋さん

⑦フリーフォトブース

⑧カメラマンフォト撮影会

⑨無料キッズルーム

⑩スタンプラリー

活動報告3　ステージイベント

⑪仮装コンテスト

⑫芸人しゃかりき

⑫劇団soilによるこどハロSHOW＆お菓子撒き

⑬Love Samba DEES

⑭マスコットダンス

⑮チアリーディング

⑯キッズダンス

⑰観客の様子

成果①

来場者数	出店者数	ボランティア	グループリーダー
約10,000人	70店舗	65人	28人

◆主催
ハロウィンマルシェ実行委員会

◆助成
一般財団法人　九電みらい財団
一般財団法人　くまもと未来創造基金「オルビスくまもと未来基金」

◆協力企業
株式会社キュウテックス

◆後援
熊本県・長洲町・熊日・熊本県教育委員会

◆協賛
菓舗 古今堂・株式会社総合プラント・株式会社テクノクリエイティブ・株式会社 松濤・EQWELチャイルドアカデミー荒尾教室
牛乳石鹸共進社・流通団地コデラ・三幸製菓株式会社・株式会社セルモ・玉名温泉　つかさの湯・株式会社フジバンビ
マルキン食品・城島高原パーク・阿蘇カドリー・ドミニオン・宮田製菓株式会社・やおきん株式会社・カゴメ株式会社・
ケンミン食品株式会社・あっとホームプラス有限会社・「あんぱさんど」・江口製菓株式会社・株式会社司ホールディングス・
株式会社リンクスアート・長洲町・フードバンク熊本・御船町恐竜博物館・らくのうマザーズ・
社会福祉法人熊本県ひとり親家庭福祉協議会てとてとて・ユニリードコンサルティング株式会社

成果②

チラシ	ポスター	テレビ告知	誌面	WEB	SNS
27,000	300	2	7	12	3

◆テレビ告知

KKTくまもと県民テレビ「てれビタ」・TKUテレビ熊本「英太郎のかたらんね」

◆誌面

ワイヤーママ10月号・タンクマ11月号・朝日新聞・ウォーカープラス11月号・祭りアイランド九州プログラム
くまにちSPICE・くまにちあれんじ

◆WEB

Yahoo!ロコ・まいぷれ・じゃらんイベントガイド・ウォーカープラスWEB版・キャロットWEB版・タンクマWEB版
肥後ジャーナル・けんさむブログ・祭りアイランド九州WEB版

◆SNS

Instagram・Facebook・YouTube

成果③（昨年度課題の達成）

目標集客数

約10,000人の集客（昨年度より2000人増）

授乳・おむつ替え室

テント内密封空間の為扇風機を設置
赤ちゃん連れに喜ばれた

入場受付の行列回避

受付人数を３倍に増やし場所も工夫。
来場者の待ち時間を短縮できた。

年齢層の変化

小中学生の参加者が増えた

※出店数の縮小

縮小することで会場の一体感が生まれた。
全体の購買意欲も上昇。

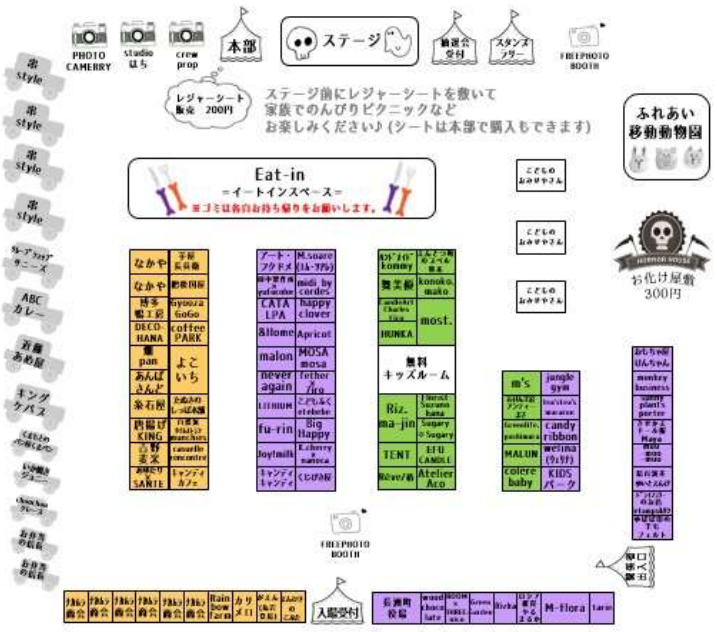
※会場内大幅改良

家族でのびのびと遊べる会場つくり
現在地看板作り

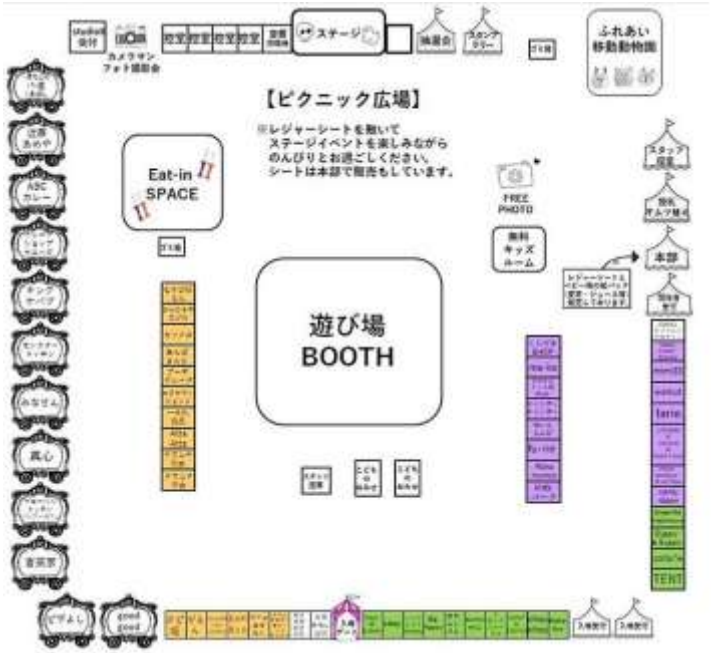
成果③（昨年度課題の達成）

出店数を減らし、真ん中を広々と開放し、
家族がのびのびと過ごせる空間を作った。

2018年度会場図



2019年度会場図



成果③（セミナーや個別相談での学びを活動にどう生かしたか？）

ただ、人を集めて終わりのイベントにならないよう

次の
ステップアップ！

ペットボトルキャップ
回収活動

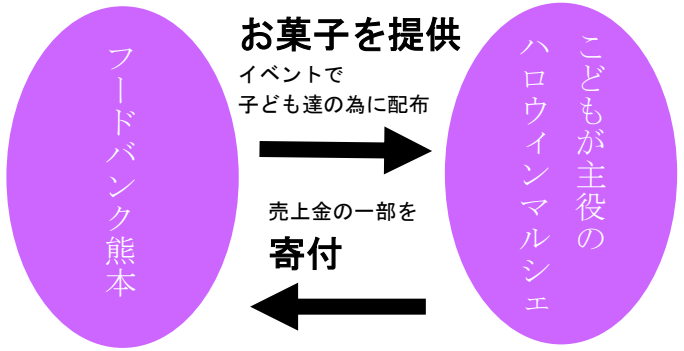
フードバンク熊本

キャップを集めて子どもワクチン支援

ゴミ箱設置の際、仕分けをして集めたペットボトルの蓋を
世界の子ども達のワクチンに役立てていただきたく、
イオン株式会社へキャップを届けました。

売上金の一部をフードバンク熊本に寄付

私達はこの活動を通じて、初めてフードバンクを知りました。生活困窮者の子ども達やご家族の力になれればという想いから、売上金の一部を寄付という形で熊本藤冨保育園の副園長・鬼塚様にお渡しさせていただきました。



今後の活動計画

次年度目標：実行委員の１人が参加できなくなっても成り立つ仕組み作り

広報活動を開始

当日アンケートの集計の結果、イベントチラシを見て来場してくれた参加者が圧倒的に多かったので、次年度はイベントチラシの印刷枚数を倍に増やし、更なる来場者を増やしたい。

手作りアイテム制作

大好評だった遊び場ブースのアイテムを増やし、更に子ども達や家族が楽しめる空間づくり確立する。

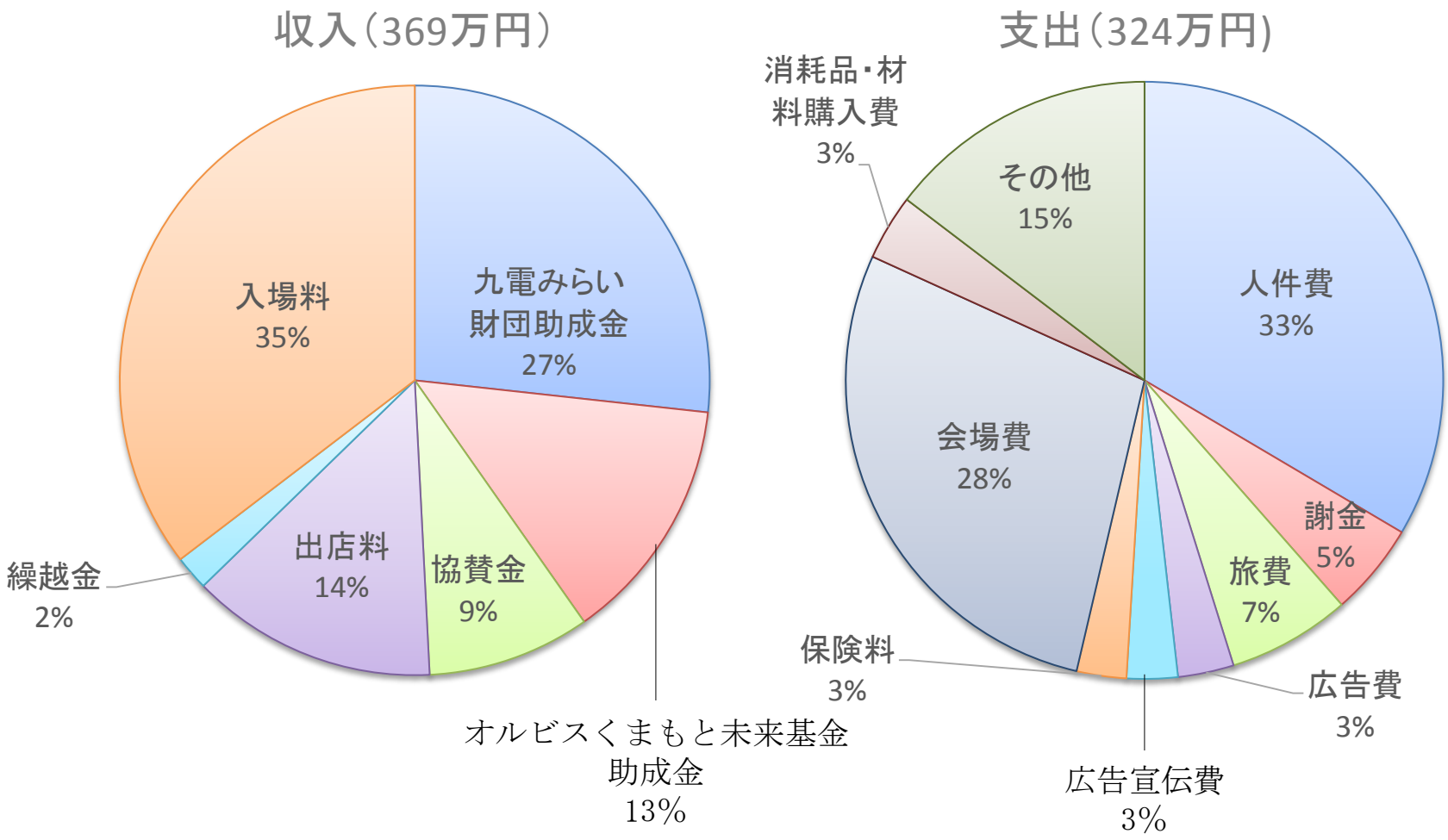
お菓子のラッピング

今後、学生ボランティアに当日だけでなく、イベント準備作業のお手伝いを依頼する

スタッフの確保

実行委員と同じくらい現場を把握し、イベントを盛り上げてくれるスタッフを募集する

収支報告


収入（369万円）
入場料
35%
九電みらい
財団助成金
27%
繰越金
2%
出店料
14%
協賛金
9%
オルビスくまもと未来基金
助成金
13%
支出（324万円）
消耗品・材
料購入費
3%
その他
15%
人件費
33%
会場費
28%
謝金
5%
旅費
7%
保険料
3%
広告費
3%
広告宣伝費
3%

イースターパーティー2019

EASTER PARTY

くまもと復活祭

4.21 2019 SUN 10:00-16:00
入場料 高校生以上¥500

グランメッセ熊本 ホールC+D

オルビスくまもと未来基金
2019年　活動最終報告

イースターパーティー実行委員会
代表　平野 加理

団体の活動紹介

イースターパーティー2019
EASTER PARTY vol.1

くまもと復活祭

4.21 2019 SUN 10:00-16:00

グランメッセ熊本 ホールC+D

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

熊本地震から3年目の4月「くまもとの復活祭」イースターパーティー開催決定！
お子様連れで過ごしやすいポップでカワイイ夢の空間を作り上げます。
熊本の復活をみなさんで願いましょう！

- SHOP 約60店舗
- 企業ブース 約30社
- 体験型コンテンツ
  （様々なワークショップ・ドローン体験）
- ステージイベント
- 震災から3年経った今の熊本パネル展
- 子連れに配慮した会場 など

経済発展のプラットフォーム形成

風習化

繋がり強化

非日常体験

熊本地震風化抑止

ただいま実行委員13名で全力準備中！

企画：MAMA FLAG　主催：イースターパーティー実行委員会

イベントでの「キーワード」

親子

非日常

復活

学び

ウサギ

マルシェ

熊本

気づき

企業

ワークショップ

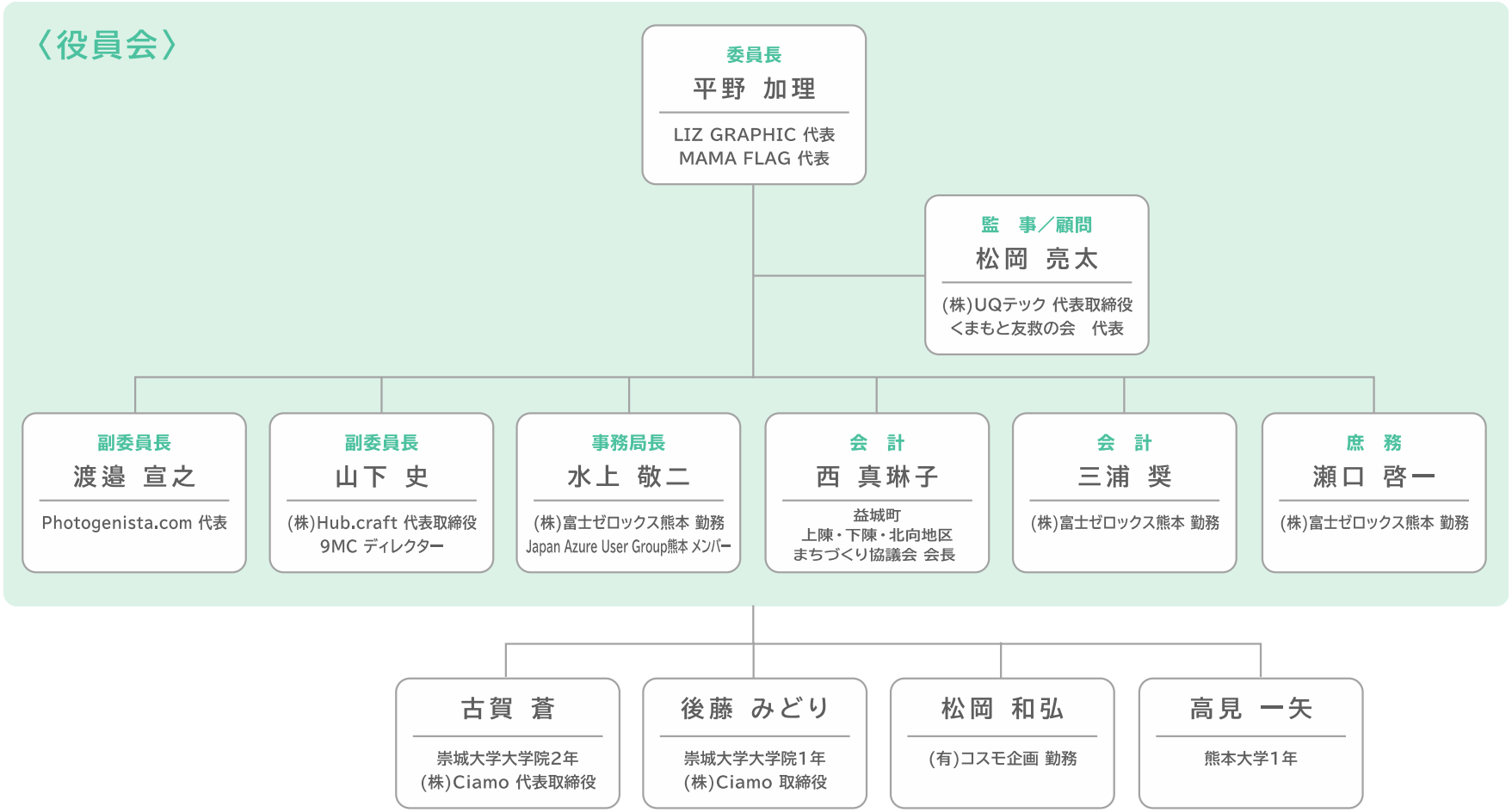
タマゴ

楽しさ

益城

大学

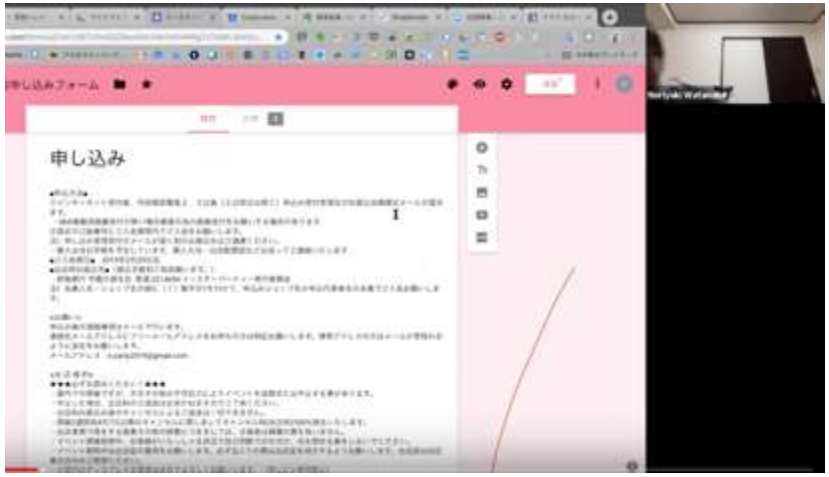
実行委員の構成


〈役員会〉
委員長
平野 加理
LIZ GRAPHIC 代表
MAMA FLAG 代表
監 事／顧問
松岡 亮太
(株)UQテック 代表取締役
くまもと友救の会 代表
副委員長
渡邉 宣之
Photogenista.com 代表
副委員長
山下 史
(株)Hub.craft 代表取締役
9MC ディレクター
事務局長
水上 敬二
(株)富士ゼロックス熊本 勤務
Japan Azure User Group熊本 メンバー
会 計
西 真琳子
益城町
上陳・下陳・北向地区
まちづくり協議会 会長
会 計
三浦 奨
(株)富士ゼロックス熊本 勤務
庶 務
瀬口 啓一
(株)富士ゼロックス熊本 勤務
古賀 蒼
崇城大学大学院2年
(株)Ciamo 代表取締役
後藤 みどり
崇城大学大学院1年
(株)Ciamo 取締役
松岡 和弘
(有)コスモ企画 勤務
高見 一矢
熊本大学1年

イベント準備とツール

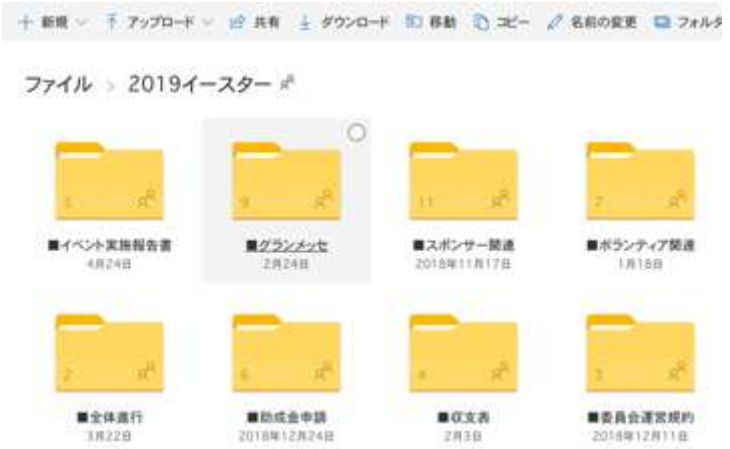
実行委員は大学生から社会人まで、幅広い構成で直接会ってのミーティングが非常に難しく、クラウドサービスを最大限に利用し効率化しました。

1 「Zoom」を使ったオンラインミーティング
イベント開催までに計32回実施しました。



2 看板タスク管理ツール「Trello」を
利用した「やること」管理

3 OneDriveでの書類共有



4 Googleフォームでのボランティア管理

2 活動報告

イベント概要

■実施概要

名　　称	イースターパーティー2019 くまもと復活祭
開催日程	2019年4月21日(日)
開催時間	10:00～16:00 (設営撤去4:00～18:00)
開催場所	グランメッセ熊本 CDホール
入場料	高校生以上500円
実施内容	パネル展、ワークショップ、企業ブース、マルシェ、ステージ
主　　催	イースターパーティー実行委員会
企　　画	MAMA FLAG
後　　援	熊本県、熊本県教育委員会、益城町、益城町教育委員会 熊本日日新聞社、TKU、KKT、RKK、KAB

イベント実績

■実績

来場者数	約2,500名　7割家族連れ
天気	快晴　最高気温27.3度／最低気温12.5度
ステージ	9演目
出展企業	16社
マルシェ	約90店舗
協力企業・団体	36
当日スタッフ	実行委員 13名 設営ボランティアスタッフ 11名 会場ボランティアスタッフ 45名

イベント動画

YouTube JP

イースターパーティー実行委員会
チャンネル登録者数 3人

チャンネルをカスタマイズ　YOUTUBE STUDIO（ベータ版）

ホーム　動画　再生リスト　チャンネル　フリートーク　概要

アップロード済み　▶ すべて再生　　おすすめチャンネル

EASTER PARTY 2019　くまもと復活祭 10m ver
127 回視聴・2 か月前

【エッグタイム】EASTER PARTY 2019　くまもと復活…
48 回視聴・2 か月前

【当日設営風景】EASTER PARTY 2019　くまもと復活…
73 回視聴・2 か月前

EASTER PARTY 2019　くまもと復活祭 60s ver
462 回視聴・2 か月前

コンテンツ

愛着を持ってもらう為に、熊本の場所にちなんだバックパネルを作成

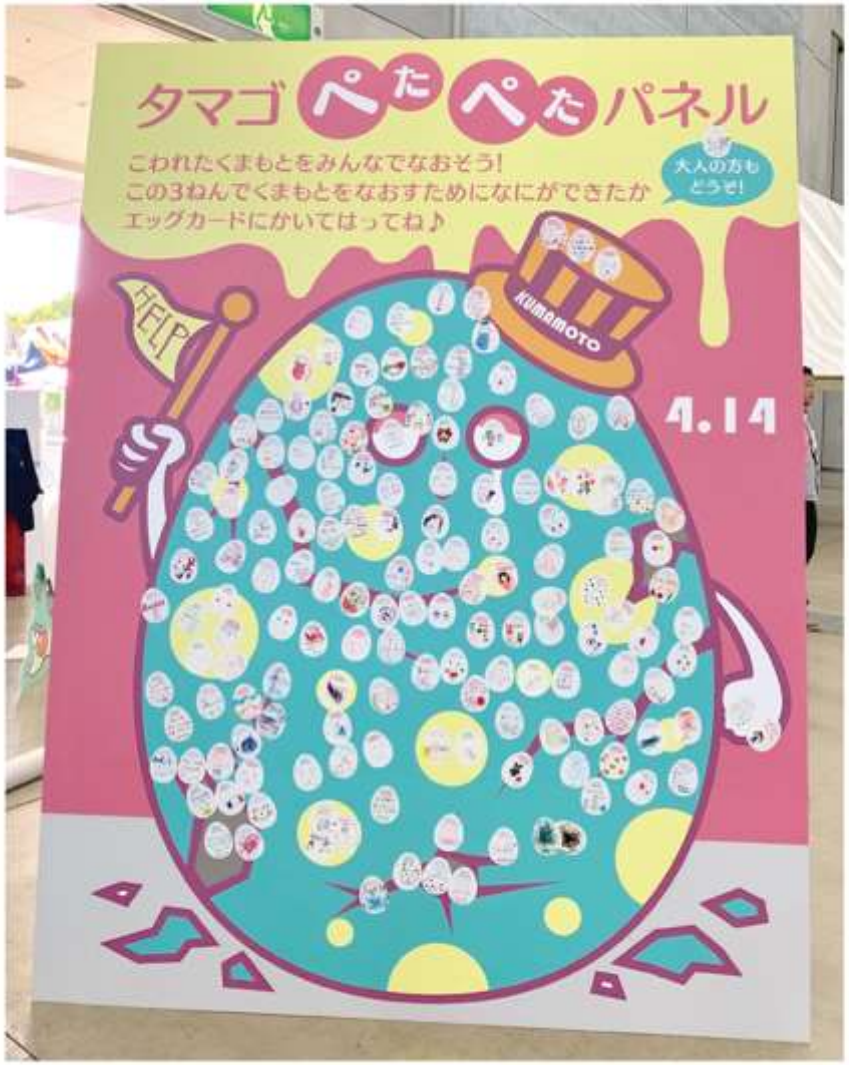
コンテンツ

■タマゴぺたぺたパネル

熊本を割れたタマゴに見立て、「熊本を復活せさるために何ができたか」タマゴカードに書いていただいた。パネルに貼ることにより「みんなで熊本を直す」という気付きのコンテンツ。

「地産地消」や「節水節電」の他、たくさんの前向きなメッセージが寄せられた。

コンテンツ


タマゴ ぺた ぺた パネル
こわれたくまもとをみんなでなおそう!
この3ねんでくまもとをなおすためになにができたか
エッグカードにかいてはってね♪
大人の方もどうぞ!
HELP
KUMAMOTO
4.14

タマゴ ぺた ぺた パネル
こわれたくまもとをみんなでなおそう!
この3ねんでくまもとをなおすためになにができたか
エッグカードにかいてはってね♪
大人の方もどうぞ!
HELP
KUMAMOTO
4.16

コンテンツ

ビフォーアフターパネル展 2016→2019

提供・撮影協力:益城カメラ、キロクマ！、益城病院、熊本市、阿蘇神社熊本地震直後の風景と3年経った今の風景を、同じ角度で撮影し、パネル展を設置しました。

2016年熊本城

2019年熊本城

3 参加と協力のための広報工夫

主に実行委員のつながりから
企画書を持って県内外の
約100の企業に地道に
お声がけを実施しました。

企業協賛

■お声がけ企業

富士ゼロックス熊本株式会社
株式会社丸菱
益城病院
同人化学
コッコファーム
医療法人社団仁誠会
ジョージアンドショーン
日本ユニシス
コカ・コーラボトラーズジャパン
アサヒ飲料株式会社
住友生命
住友林業株式会社
トヨタカローラ
ネッツトヨタ中九州
福田病院
崇城大学
パンパース
ピジョン
福岡銀行
グルーブノーツ
肥後銀行
株式会社風雅
熊本銀行
サントリー
コデラ
フジバンビ
花王
らくのうマザーズ
阿蘇ファームヴィレッジ
グリーンランド
cocosa
パルコ
リバテープ
ヤクルト
株式会社DK
アーキハウス・アネシス
FILL
アイウッド
アラセンハウス
中古車
ミューズプランニング
アクセス
村田工務店
ダイハツ
サンワード
ソニー生命
ソニックジャパン
連空間Design・はじめギャラリー
大蔦屋
愛住宅
コンフォートハウス
果実堂
ASTER
リブワーク
コムハウス
バウハウス
エイティー九州
ひなたまこっこ
伊井産婦人科
杉養蜂農園
経済連
シェルパ
早稲田スクール
季寿
マリア幼稚園
学園大学
株式会社ジャムティ(西川様)
熊本電力
イオン
九州電力
木村のあられ
平田機工
熊本学園大学
再春館製薬
熊本観光タクシー
熊本交通運輸
オートメッセ
エミナース
株式会社えがお
シアーズホーム
JAかみましき
ベビーパーク
幼稚園関係
赤ちゃん本舗
和光堂
西部ガス
全労済
県民共済
新生堂薬局
ワイヤーママ
松尾司法書士
株式会社AiCT(LAGOO)
ホームセンターサンコー
ヒライ
ロジック
KIRIN
ダスキン
明和不動産
フルタ製菓(チョコエッグ)
Zero design
Hub.craft
ZEST

企業協賛のポイント

1 主旨をしっかりと説明！

2 熊本県内外、数をまわる！

3 相手企業にとってのメリットはなにか？

マルシェ協力

イベント、店舗、SNS
を通じて

約150のお店に
お声がけを
実施しました。

Webからの申込みと管理

■お声がけ店

Kei's Factory
shop512
LaTo
アトリエBocco
RIN Works
walet
PERK
walnut
Amour
pablo
CABiN
キャンディキャンディ
MOSAmosa
happy clover
GreenSea
BIG DOOR
clue_gazet
Flannel
BRIDGE KUMAMOTO
ノサリ
ミドリネコ舎
Big Happy
Amita
フローリスト鈴の花
dot to dot
Auntie-masa
Sugary＊Sugary
casuelle rencontre
Cafe zakka bb
BAKEE
ひよこ雑貨店
アクアプロ
コトノハ雑貨店
THREE.nico&ROOM
Ladybug
PHOTO CAMERRY
ROSE HOUSE
NameLess
aura
tino
藤田雑貨店
AIR
&Home
オトナリ
九州活版印刷所
こどもふくetebebe
よんひきのこぶた
ふぁお
DECO-HANA
お花教室トムテ
まいちゃん(名前未定)
イルフォルノドーロ
tokinoirodori
茶のこ
キチパン
FLAVEDO par LISETTE
パンの家
Rizka
candyribbon
まいねこ
麦の音
pain au levain
パンダイゴ
Kubil.Cocco
カリメロ
阿蘇ピクルス
阿蘇タカナード
MiKO
smile sweets
Tartelette
NEVL
石川製パン
トルチェパン
ちぃのパン
リコテ
華華
Nオランジェット
PetitMignon
麻こころ茶屋
ごちそうさん
くまパン
豆菓子Lepo
Seed leaf
ウッドガーデン
オハナbaby
KICO ウッドワーク
zakka cocho
village
7iro
apricot
STOCK
pupupu
earth candle
in to coffee stand
room105
garden1.5gakuya
omusubi.
ユルリト
サイフォンタツヤ
スマイルヒーロー
VOYAGE
不言亭
サンルーアパートメント
橘家ベイクショップ
ふたごっち
DECO-HANA
ディアダイアモンド
ブリッジ熊本
コマンドディー
未来トーーク

事前告知

■事前フライヤーA3クロス折り 20,000部

教育委員会を抑える
事がポイント

事前告知

■B2ポスター　200部

配布先一覧

■配布先

飯野小
京町台保育園
愛光幼児園
益城町役場
益城 第二保育所
益城町教育委員会
益城幼稚園
益城中
広安西小
益城第四保育所
帯山小
津森小
木山中
Sakuraki no ie
益城中央小
西本珈琲
託麻原小
大江小
そよがせ保育園
あややん八代方面
熊本市PTA協議会南区方面
テレハウス
たむかえこども園
カトレア保育園
熊本市子ども会協議会
さくらんぼ保育園
嘉島保育園
空港保育園
ひろやす保育園
あじさい子供園
保育園こころ
清水保育園
キャサリンズバー
英会話教室NEIRO
Noel flower&green Shu・warm
お菓子のいしはら 天明堂
ファームランド
Reefバーガー
県営山の上団地
熊本市立図書館
熊本県立図書館
熊本県立体育館
田迎南小学校
にれのき保育園 立田幼稚園
花園エリアPS 島崎マンション
日吉小学校
産交バス松橋営業所
ポスター
力合小学校
城南小学校2
川尻保育園
エンゼル保育園
のぞみ保育園
なぎさ保育園
大光保育園
光輪保育園
さくらぎ保育園
熊本市営合志団地
パストラルハイム白藤
鍋保育園
帯山幼稚園
御船昭和保育園
健軍マンション
川尻小学校

約70箇所

紙面媒体

■月刊タウン情報 クマモト4月号

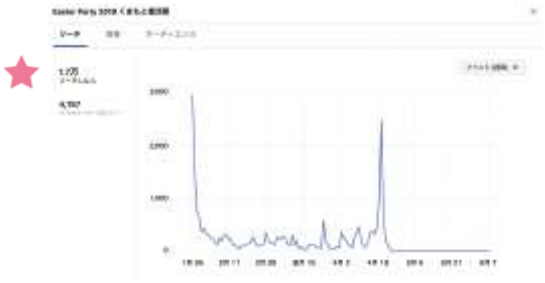
■4月18日付　毎日新聞

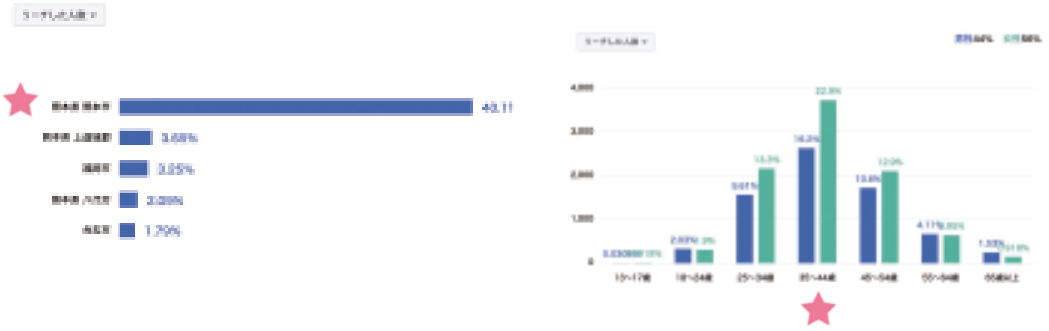
SNS運用

■Facebookイベントページ

フォロワー数 671人
平均リーチ数 約2,000
最多リーチ投稿 約3,000

総リーチ数 約17,000人





Facebook JAPAN公式ページでの紹介

SNS運用

■Instagram

フォロワー数　402人
リーチ年齢層　25〜44歳
リーチ性別　72%が女性

インプレッション 7,000 over

SNS運用のポイント

1. 投稿は１日３回以内で投稿時間をターゲット層に合わせる（12:00 & 21:00）

2. インスタライブやストーリーズを利用してライブ感を出す、中の人を知ってもらう活動をする。

3. イベント実施後の投稿も大事（アフターフォロー）

4 成果と今後の活動計画

ご協力企業・団体・後援

お陰様で沢山の企業・団体様のご協力をいただく事が出来ました。

PLATINUM PARTNER

Hirata

PARTNER

富士ゼロックス熊本株式会社　bibllle　SUNWARD　Zero Design Architecture　GEORGE SHAUN

株式会社 吉平物産　LIFE JAPAN 株式会社 ライフジャパン　SUNTORY

トヨタカローラ熊本　超えていく。Netz SQUARE

崇城大学　ミスターマザーズ　季寄　住友林業　DK.

松尾法務合同事務所

※本イベントは、一般財団法人くまもと未来創造基金より「オルビスくまもと未来基金」の支援を受け開催致します　ORBIS　おもやい

SUPPORTER

Photogenista.com　ciamo　Hub.craft inc.

Facebook Japan 株式会社　友救　Kuma MCN　-d commando　Bridge KUMAMOTO　SUPER WOMAN PROJECT　gran mocco

〈ビフォーアフターパネル展 写真提供・撮影協力〉　益城カメラ　キロクマ!　益城病院　熊本市　阿蘇神社

●イースターエッグプレゼントタイム ダンス振り付け　葉山 悠介

●イースターエッグプレゼントタイム キッズダンサー　吉山 みう／村山 ゆの 伊原 きょうか／西 ななは

●イースターエッグプレゼントタイム ダンサー仮面製作協力　杉本 茉莉

●会場設営協力 (株)ツカサ創研

●会場イースターエッグ製作協力 崇城大学 芸術学部 道崎 紗子

●会場フラワー装飾 (一社)スーパーウーマンプロジェクト

●ボランティアスタッフ 熊本県内の大学生 熊本県内の高専生 社会人の皆さん

●個人協賛 多大なるご支援ありがとうございました

後援

熊本県・熊本県教育委員会・益城町・益城町教育委員会•熊本日日新聞社・KKT・RKK・TKU・KAB

イベント成果

■イースターパーティー2019 くまもと復活祭を実施して

約2,500名の来場者に、非日常感、楽しさをベースにした学び、親子で楽しめる事を提供しました。

マルシェ

出店数90店舗、そのうち14店舗を益城のお店に出展いただきました。

出店数90店舗

雑貨・販売系	42店
食品	28店
リラクゼーション	6店
ワークショップ	14店

企業

13の企業にご出展いただきました。

■平田機工（株）様
出展内容：オモチャの組み立てワークショップ

■サントリーホールディングス（株）様
出展内容：マーブリングワークショップ

当日の声

来場者

・「またイースターやってください」
・「楽しかった！」
・「朝からずっといました」
・「みんなでうさみみ付けるの可愛い」
・「良いお店が沢山ありますね」
・「ステージ楽しかった」
・「ペタペタパネルは良い取り組みだと思う」
・「写真展で感じるものがあった」

出店者

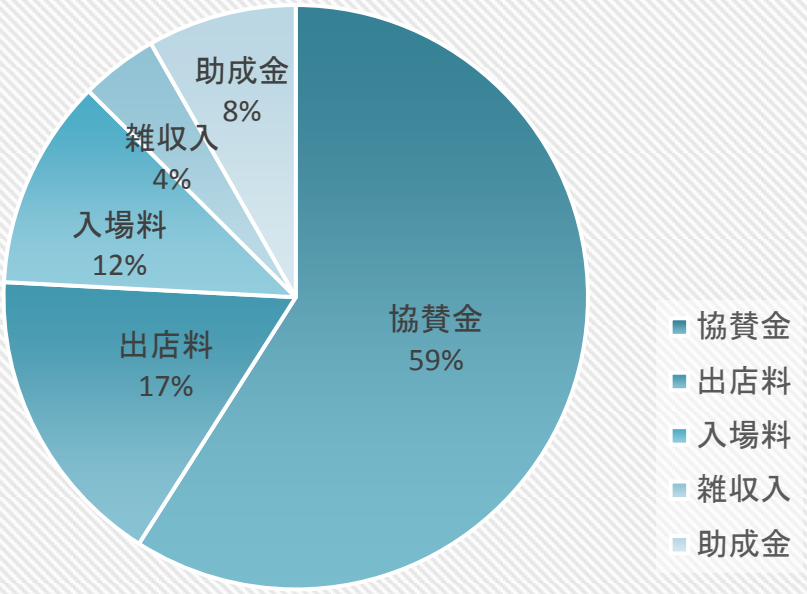
・「またぜひ出店のお声掛けをお願いします
・「次はもっとイースターっぽい商品準備します」
・「出店側なのにイベントを思いっきり楽しんじゃいました」
・「空気感がよかった」
・「スタッフの方が一生懸命で応援したくなりました、学生スタッフの気遣いもよかった」

出展企業

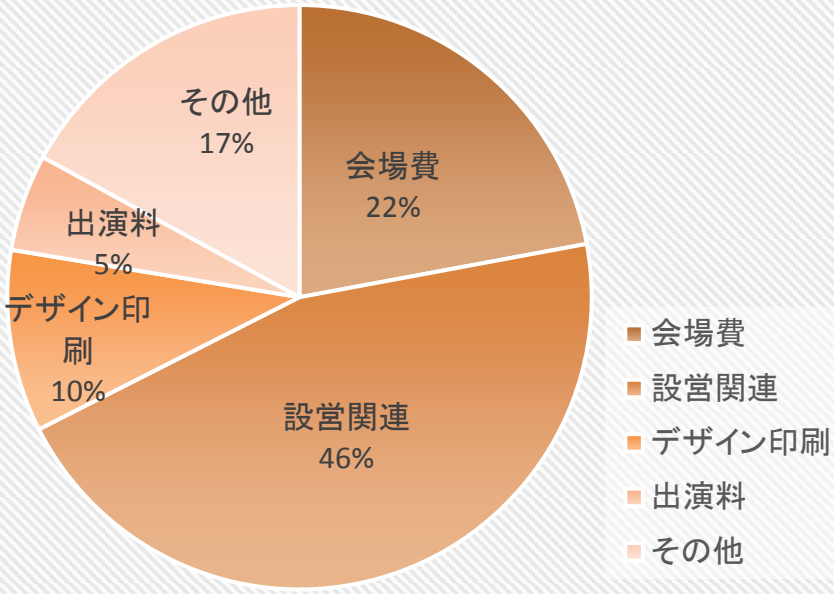
・「なかなかこういうイベントに関わることが無いので楽しかった」
・「またお声掛けください」
・「普段はBtoBが多いので、BtoCの温度感が感じられる出展も良いなと思いました」
・「子供達の笑顔や嬉しい言葉に泣きそうになりました」

収支

収入



支出



収入：¥6,057,460
支出：¥6,073,560

▲¥16,100

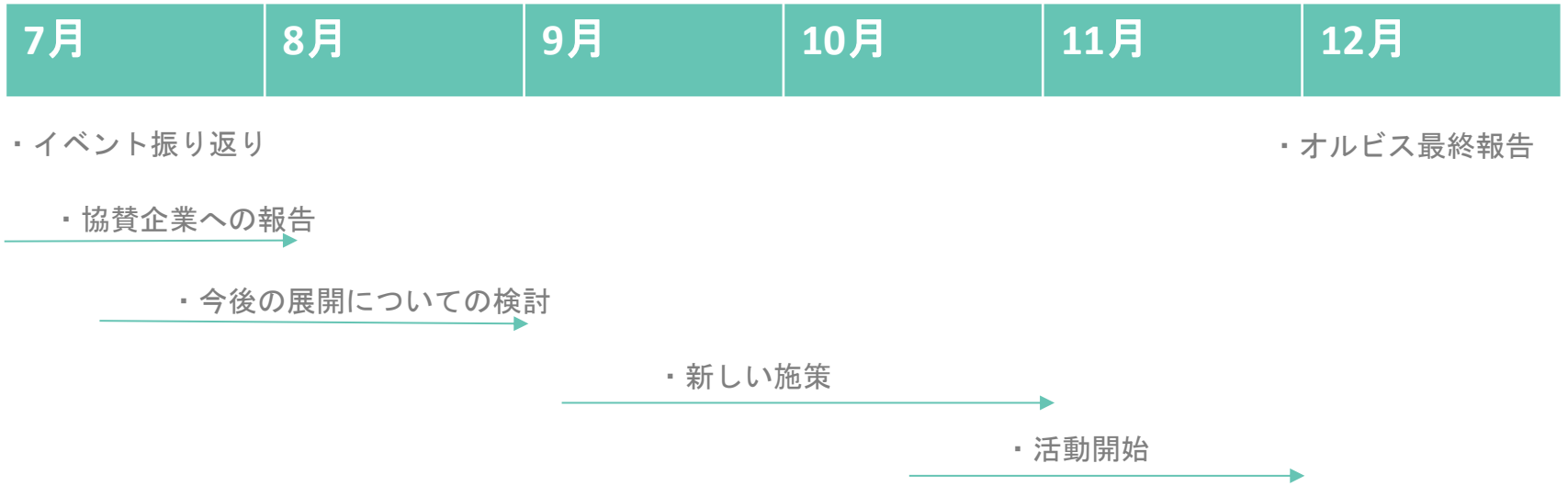
寄付35,000円

*うさ耳販売で益城町に対して

成果チェックリスト

目的	目標値	成果	評価	備考
益城を中心として多種多様な人々に携わってもらう	企業：10社以上 マルシェ：50店舗以上 大学：1大学以上	企業：13社 マルシェ：90店舗 大学：3大学	◎	産学官別け隔てなく関わってもらう事が出来た
多くの親子で復活祭を祝う	5,000名	2,500名	X	事前の告知
来場者に復活祭を楽しんでもらう	「楽しい！」などの声があがる事	来場者より「楽しかった！」の声が聞けた。	○	「当日の声」を参照
震災からの三年間をふりかえりこれからの糧とする	ペタペタパネルの書き込み数：100	書き込み数：約250	◎	
震災当時と今を写真でふりかえり気づきを得る	個々人からなにかのコメントがでる事	来場者より「感じる事があった」などのコメントを頂いた。	○	「当日の声」を参照
実行委員の金銭的負担を抑える	収支：▲¥100,000以内	収支：▲¥16,100	○	

今後のスケジュール



イベントふりかえり完了後に現実行委員を一度解散し
また次回の施策に向けてビジョンを策定後、新たに実行委員を募ります。現在のところイベントに拘らない取り組みを実施予定です。

現在の取り組み

4コマ漫画

おすそわけ

お〜〜〜い
あ、キンポー
さぁーん！

うしろの段々畑の
ミカンが食べごろだから
持っていきなよ
たくさんどうぞ
ひょい
えっ
こんなに?

ありがとう…
キンポーさん…
…
重すぎて
飛べなくなった
すとん。

河内(かわち)の段々畑(だんだんばたけ)

セミナーからの学び(PDCA)

・セミナーや個別相談からの学び
・イベントの振り返り

より多くの人に自分達らしい方法で
自分達の世界観や熊本のことを
知ってもらいたい
ファンを増やしていきたい

私達にはコンテンツがある

もっと**ストーリー**で伝えよう！

ラビたま！@rabitamaland

Instagram,Twitter,Facebookなどの
SNSで展開中（英語Verも有）

熊本の土地などを紹介

ラジオ出演(FMK)

セミナーを通じて得たつながり

イースター実行委員でハロウィンマルシェのお手伝いに行きました！

現在の課題

1. 認知度の向上
2. 作業の負荷分散

今後について

ファンを獲得

地域のお店や企業と
タイアップ

Kumamap for Web

事業化し**地域に還元**

寄付者へのメッセージ

「震災関連の前向きなイベントをしたい」という想いで、今回本イベントを企画し3年という節目で「復活していく熊本を喜び、祝う」そして「これから益々復活・発展させるために自分に何ができるだろう」そんなことをふと立ち止まって考えられるような1日にするべく、準備を進めてきました。

初めてのことだらけで、準備を進めていく中で何度も壁にぶつかり、その度に実行委員で乗り越えてました。そして、たくさんの方々のご支援・ご協力のもと無事に4月21日を迎えることができました。

当日「楽しみにしてました」と出店者さん、来場者さんから声をかけていただいたり、イベント終了後も「またイースターしてください」と嬉しいお言葉もいただきました。

至らない点もたくさんあり反省点だらけの私たちでしたが、皆さんの言葉に何度も救われました。

たくさんの笑顔で溢れた一日、関わってくださった全ての皆さま、寄付者の皆さまに感謝申し上げます。

この度はご寄付いただき誠にありがとうございました。

イースターパーティ実行委員一同

オルビスくまもと未来基金（2017年・2018年・2019年）活動支援団体

	採択対象活動内容（17団体）	その後の活動
1年目 2017年 緊急期	**「緊急支援・心のケア支援」** ・災害復旧支援（ロハス南阿蘇たすけあい） ・給食支援命のスーププロジェクト（給食を考える会熊本） ・妊婦・産後ママ支援（NGOマザー＆アース） ・仮設住宅子ども支援（熊本子育てサポーターズ） ・ひとり親支援（Wish&Happines） ・情報発信支援（ローカルメデイア3）	社団法人化 それぞれで活動 沖縄・熊本で活動 活動継続 ひとり親協議会へ WEBサイトで発信
2年目 2018年 復旧期	**活動分野「子ども・女性・若者」支援活動** ・子ども地域食堂（ハンズハンズ）＊ ・長期休暇学習生活支援（よかあんばいJapan） ・子ども・ママ支援（ハロウインマルシェ実行委員会）＊ ・子ども職業体験（熊本転入ママの会）＊ ・女性就業支援ハタラクママプロジェクト（キラリコーポレーション） ・災害支援学生団体ネットワーク・学び支援 （熊本大学災害ボランテイアサンフラワー）	活動継続中 各地で事業展開 県内学生団体と連携
3年目 2019年 復興期	**活動分野「子ども・女性・若者」支援** ・子ども食堂・学習支援（ハンズハンズ・陽だまりの樹） ・子育てママ支援（HappyPark、ハロウインマルシェ、 子育てnetwork縁側moyai・熊本転入ママの会） ・ひとり親家族支援（益城子ども農園） ・復興支援（イースターパーティー実行委員会）	

よかあんばいJapan

・手づくり味噌巡業
　各地保育園・幼稚園・
　学校・地域イベントで
　「味噌の作り方」講座

・長期休暇小学生親子支援
　生活学習支援「ゆるっとまっと」

・共生食堂
　「おむすび屋」（月～金）
　「よりどころ」（月1　土）

ロハス南阿蘇たすけあい

などの取り組みがあり，早期に異変に気づくことで，孤立を防いでいる。近年では，支える側と支えられる側の区別なく，住民やさまざまな団体が連携して課題解決に取り組む新たなつながりづくりが各地で進められている。こうした日常的につながりのある地域は，災害に強く，防災・減災のまちづくりとしても期待されている。

C ボランティア活動 ボランティア活動とは，自分のスキルや時間，労力などを自発的かつ無償で社会や人のために役立てることである。福祉，まちづくり，環境，スポーツ，防災などさまざまな領域で，多世代の人が活動している。そのため，活動者個人の社会参加意欲が満たされるだけでなく，さまざまな世代や属性の人と交流することで，個人のつながりが広がると共に，豊かな自分らしさをはぐくむことができる。

Today's Topic

仕事の専門知識・経験を生かすプロボノ

「プロボノ」とは，各分野の専門家が，職業上持っている知識や経験を活かして社会貢献する活動のこと。ラテン語の「pro bono publico（公共善のために）」が語源となっている。

もともとはアメリカやイギリスの法律関連職の人々が，無償で相談に乗ることをさしていたが，こんにちではさまざまな分野で働く人が自分の専門性をいかしたプロボノ活動を行っている。

（プロボノ活動の例と写真入れる）

2017年活動支援団体
災害発生時、緊急復旧支援専門家集団として、その後日本各地で起きた災害支援活動を行う。

2018年**一般社団法人**化

緊急時に備えた各地連携による支援体制づくり、民間の強みを生かした迅速な支援

FBなどSNS等を活かした情報発信、メデイア掲載などによる支援者・寄付の増加

赤い羽根共同募金などの助成金確保・各地行政・災害ボランテイアセンターとの連携

NPO法人熊本大学災害ボランテイア サンフラワー

- **くまもと学生災害ボランティアプラットフォーム(略称:くまっとフォーム)**という被災地で活動する学生たちをつなげるためのネットワーク体を立ち上げ！！
- くまっとフォームは、熊本大学災害復旧支援団体 熊助組、熊本県立大学unité仮設ユニット、熊本大学学生災害ボランティア サンフラワーの3団体で立ち上げた連携体で、“無理のない、持続可能な連携”をベースに活動！
- くまっとフォーム活動目的
  1. 情報・知識・資材等の共有
  2. 情報発信
  3. 合同イベントの実施

３．「オルビスくまもと未来基金」
2020年伴走型支援事業について

おもやい

2020年オルビスくまもと未来基金「伴走型支援事業」
“本気で課題を解決したい！
次のステップに向けてチャレンジしたい団体募集”

◆目的：熊本地震復興支援から始まった支援活動・地域の課題解決活動がさらに継続的に活動していくために、年間を通したコンサルテイングを通して、継続的運営を行うための組織力・”資源”調達力を養い、自立・発展した運営ができる団体を養成する

◆対象：これまで支援サポートしてきた団体を中心に、さらにステップアップ・成長を希望する団体を審査の上選定

◆期間：2020年1月～2020年12月

◆支援内容

① 団体の課題整理・課題に応じた支援計画
② 集中研修
③ 個別コンサルテイング
④ 成果報告

◆実施体制

・事業運営資金：株式会社オルビス
・事業運営

伴走型コンサルテイング：一般財団法人ジャパンギビング
事業全般：一般財団法人くまもと未来創造基金

「みんなで未来を創ろう！」
1592チャレンジ基金　について

チャレンジ1592

おもやい

想い × 寄付 ＝ 志金

●チャレンジ1592”は想いから始まる寄付集めです

●集まった「志金」は、**3つの活動（復興・地域活動支援・子ども女性）**へ助成いたします。

未来を担う次世代学生を支援する事業
高校生給付型奨学金制度開始！

- 熊本モンタナ高校生留学奨学金ー本事業を実施するに当たり、本財団内に特別基金として、**「Appleseed 奨学金」**を創設致しました。
- 高校生留学プログラム参加費用相当額の奨学金を、返済義務のない給付型で支給することで、県内の高校生が広く海外に視野を向け、グローバルに活躍をし、社会の発展に寄与することを目的としています。

（2018年度2名）

「経験生かし国際貢献を」
留学する高校生独自

記念撮影

おもやい

Thank You
12 Giving December
交流会
この一年に感謝を込めて
みんなで未来を創ろう！
おもやい
「おもやいアワード2018」

おもやい

一般社団法人くまもと未来創造基金